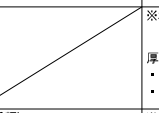
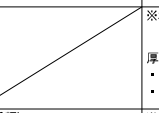
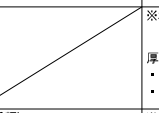


川越南小学校洋式トイレ化工事

図 面 リ ス ト							
意匠図		電気設備図			機械設備図		
	表紙・図面目録						
T-01	改修特記仕様書（１）	E-01	特記仕様書（電気設備の部）	（川越北小学校）	M-01	特記仕様書１（機械設備の部）	（川越南小学校）
T-02	改修特記仕様書（２）	E-02	コンセント・通信設備 １階平面図（改修前）	（川越北小学校）	M-02	特記仕様書１（機械設備の部）	（川越南小学校）
T-03	改修特記仕様書（３）	E-03	コンセント設備 ２階平面図（改修前）	（川越北小学校）	M-03	１階平面図	（川越南小学校）
T-04	改修特記仕様書（４）	E-04	コンセント設備 ３階平面図（改修前）	（川越北小学校）	M-04	２階平面図	（川越南小学校）
T-05	改修特記仕様書（５）	E-05	コンセント・通信設備 １階平面図（改修後）	（川越北小学校）	M-05	３階平面図	（川越南小学校）
T-06	改修特記仕様書（６）	E-06	コンセント設備 ２階平面図（改修後）	（川越北小学校）	M-06	４階平面図	（川越南小学校）
T-07	改修特記仕様書（７）	E-07	コンセント設備 ３階平面図（改修後）	（川越北小学校）	M-07	南棟１階職員便所衛生器具改修図	（川越南小学校）
T-08	改修特記仕様書（８）	E-08	コンセント設備 体育館便所（改修前・改修後）	（川越北小学校）	M-08	南棟２、３階生徒用西便所衛生器具改修図	（川越南小学校）
A-01	付近見取図・配置図	E-09	分電盤結線図（改修前・改修後）	（川越北小学校）	M-09	南棟１階生徒用東女子便所衛生器具改修図	（川越南小学校）
A-02	１階平面図				M-10	南棟２、３階生徒用東女子便所衛生器具改修図	（川越南小学校）
A-03	２階平面図				E-11	南棟１階生徒用東男子便所衛生器具改修図	（川越南小学校）
A-04	３階平面図				M-12	南棟２、３階生徒用東男子便所衛生器具改修図	（川越南小学校）
A-05	４階平面図				M-13	南棟４階生徒用東便所衛生器具改修図	（川越南小学校）
A-06	南棟 １階 職員便所 平面図				M-14	北棟１～３階生徒用便所衛生器具改修図	（川越南小学校）
A-07	南棟 ２、３階 生徒用西便所 平面図				M-15	体育館衛生器具改修図	（川越南小学校）
A-08	南棟 １階 生徒用東女子便所 平面図				M-16	雑詳細図（参考図）	（川越南小学校）
A-09	南棟 ２、３階 生徒用東女子便所 平面図						
A-10	南棟 １階 生徒用東男子便所 平面図						
A-11	南棟 ２、３階 生徒用東男子便所 平面図						
A-12	北棟 １～３階 生徒用便所 平面図						
A-13	体育館平面図、便所平面図						
A-14	建具表						
A-15	外部仮設計画図						
A-16	内部仮設計画図（１）						
A-17	内部仮設計画図（２）						
A-18	内部仮設計画図（３）						

Ⅱ．建築改修工事仕様			① 各章共通事項	⑤ 施工調査	※施工計画調査 本工事該当部位及び関連部位について既存施設（埋設配管を含む）について事前調査、情報収集を行う。 報告書 監督職員に2部提出 立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付 調査業者 外壁及び防水改修工事数量調査は、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする ・埋設配管の試掘 範囲、復旧方法 ※図示 ・ ・第一次判定（シーリング材種の判定） 日本シーリング材工業会に次のシーリング材のサンプルを送付し、材種の判定を行う。判定結果については、監督職員に速やかに報告する。 サンプリング採取箇所（ ） 採取箇所数（ ） ・第二次判定（P C B含有量の分析） 専門分析機関に次のシーリング材のサンプルを送付し、P C B含有量の分析を行う。なお、分析サンプルの四周は除去し、採取部の内部（大気とさらされていない部分）を取り出して分析する。判定結果については、監督職員に速やかに報告する。 サンプリング採取箇所（ ） 採取箇所数（ ） ⅰ）施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。 ⅱ）測定対象室及び測定箇所数は次による。 測定対象室（ ） 測定箇所数（ ） 測定対象室（ ） 測定箇所数（ ） 測定対象室（ ） 測定箇所数（ ） ⅰ）引渡しを要するもの ・金属類 ・P C Bを含む機器類（ ） ・P C B含有シーリング材 使用箇所（ ） ・特別管理産業廃棄物 ・廃石綿 9章による ・廃油 ・臭化リチウム水溶液等 ・現場において再利用を図るもの ・建設汚泥 ※再生資源化施設に搬出 ・再資源化を図るもの ・小型蓄電池 ・蛍光灯及びH I Dランプ ・硬質強化ビニル管及び継手 ※せっこうボード ⅰ）廃せっこうボードの裏面の表示を確認し、石綿、ヒ素、カドミウムを含有するか又は、含有していないことが確認できない場合は、各製造工場に問い合わせの上、監督職員と協議する。 ⅱ）石綿含有廃せっこうボード 9章による ○その他の含有物質（石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板） 搬出先（安定型最終処分場：場内の一定の場所で埋立処分する） 上記搬出先については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお提示する施設と異なる場合には設計変更の対象としない。 本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律施行令」（平成12年11月29日政令第495号）又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年 5月31日法律第104号）に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 ・分別解体等の方法（解体工事） <table><tr><th>工 程</th><th>作 業 内 容</th><th>分別解体等の方法</th></tr><tr><td>ⅰ）建築設備、内装等</td><td>建築設備・内装材の取外し ・有 ・無</td><td>※手作業 ・手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（ ）</td></tr><tr><td>ⅱ）屋根ふき材</td><td>屋根ふき材の取外し ・有 ・無</td><td>※手作業 ・手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（ ）</td></tr><tr><td>ⅲ）外装材、</td><td>外装材・上部構造の取壊し ・有 ・無</td><td>※手作業 ・手作業・機械作業の併用</td></tr><tr><td>ⅳ）基礎、基礎ぐい</td><td>基礎・基礎ぐいの取壊し ・有 ・無</td><td>※手作業 ・手作業・機械作業の併用</td></tr><tr><td>ⅴ）その他</td><td>その他の取壊し ・有 ・無</td><td>※手作業 ・手作業・機械作業の併用</td></tr></table> ○分別解体等の方法（新築、増築、修繕、模様替工事） <table><tr><th>工 程</th><th>作 業 内 容</th><th>分別解体等の方法</th></tr><tr><td>ⅰ）造成等、基礎ぐい</td><td>造成等の工事 ・有 ○無</td><td>・手作業 ・手作業・機械作業の併用</td></tr><tr><td>ⅱ）基礎</td><td>基礎・基礎ぐいの工事 ・有 ○無</td><td>・手作業 ・手作業・機械作業の併用</td></tr><tr><td>ⅲ）上部構造部分、外装</td><td>上部構造部分、外装の工事 ・有 ・無</td><td>・手作業 ○手作業・機械作業の併用</td></tr><tr><td>ⅳ）屋根</td><td>屋根の工事 ・有 ○無</td><td>・手作業 ・手作業・機械作業の併用</td></tr><tr><td>ⅴ）建築設備、内装等</td><td>建築設備、内装等の工事 ○有 ・無</td><td>・手作業 ○手作業・機械作業の併用</td></tr><tr><td>ⅴ）その他</td><td>その他の工事 ・有 ○無</td><td>・手作業 ・手作業・機械作業の併用</td></tr></table> ・特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設 <table><tr><th>特定建設資材廃棄物の種類</th><th>再資源化等をする施設の種類</th><th>所 在 地</th></tr><tr><td>コンクリート</td><td></td><td></td></tr><tr><td>コンクリート及び鉄から成る建設資材</td><td></td><td></td></tr><tr><td>木材</td><td></td><td></td></tr><tr><td>アスファルト・コンクリート</td><td></td><td></td></tr></table> 届出に係る事項の説明時に上記と異なる施設（同種の再資源化等を行う施設に限る。）を受注者が提示した場合は、当該施設に搬出することができる。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法	ⅰ）建築設備、内装等	建築設備・内装材の取外し ・有 ・無	※手作業 ・手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（ ）	ⅱ）屋根ふき材	屋根ふき材の取外し ・有 ・無	※手作業 ・手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（ ）	ⅲ）外装材、	外装材・上部構造の取壊し ・有 ・無	※手作業 ・手作業・機械作業の併用	ⅳ）基礎、基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの取壊し ・有 ・無	※手作業 ・手作業・機械作業の併用	ⅴ）その他	その他の取壊し ・有 ・無	※手作業 ・手作業・機械作業の併用	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法	ⅰ）造成等、基礎ぐい	造成等の工事 ・有 ○無	・手作業 ・手作業・機械作業の併用	ⅱ）基礎	基礎・基礎ぐいの工事 ・有 ○無	・手作業 ・手作業・機械作業の併用	ⅲ）上部構造部分、外装	上部構造部分、外装の工事 ・有 ・無	・手作業 ○手作業・機械作業の併用	ⅳ）屋根	屋根の工事 ・有 ○無	・手作業 ・手作業・機械作業の併用	ⅴ）建築設備、内装等	建築設備、内装等の工事 ○有 ・無	・手作業 ○手作業・機械作業の併用	ⅴ）その他	その他の工事 ・有 ○無	・手作業 ・手作業・機械作業の併用	特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設の種類	所 在 地	コンクリート			コンクリート及び鉄から成る建設資材			木材			アスファルト・コンクリート			① 各章共通事項	10 建設発生土の処理方法 (3.2.5) ※「建設発生土情報交換システム」を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。なお、次の運搬に相当する経費を見込んでいる。 搬出距離（ ） D I O区間（ ） 仮置場（ ） ・場外指定場所に搬出する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 搬出場所（ ） 受入条件（ ） 仮置場（ ） ・場内指定場所に敷き均し（ ） ・場内指定場所に堆積 ・撮影者：建築完成写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する業者 撮影箇所数 ※（ ）箇所 ・航空写真（ ）箇所 ※電子データ（JPEGフルカラー、圧縮率1/4程度） 1部 画素数、画質等 4500×3000 ピクセル以上で画像補正を行ったもの ・カラー印刷紙キャビネ版（ ）枚 ・四つ切（ ）枚 ※アルミ銀縁 ・半切（ ）枚 ※アルミ銀縁 ・撮影者：任意 撮影箇所数 ※（ ）箇所 ※電子データ（JPEGフルカラー） 1部 画素数、画質等 1280×960 ピクセル以上 ・カラー印刷紙キャビネ版（ ）枚	③ 防水改修工事 1 施工数量調査 [1.5.2、3] 調査範囲 ・図示 ・防水改修範囲 調査方法 ・図示 ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・ 調査報告書 提出部数 ・2部 ・ 2 降雨等に対する養生方法（とい共） [3.1.3] 3 既存防水の処理 [3.2.3、4、6] 既存保護層の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ・ ） ・行わない 既存防水層の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ・ ） ・行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS I ・M4C ・M4DI ・L4X ） ・行わない 4 既存下地の処理 [3.2.6] 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・図示 ・ POS工法及びPOS I工法（機械的固定工法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部の処理 ※改修標準仕様書3.2.6(4) (イ) (g) ①～③による ・ 設備機器架台、配管受部、ハラベット、貫通パイプ回り、手すり・、丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ※監督職員と協議する ・図示 5 アスファルト防水 [3.3.2～5] 屋根保護防水 防水層の種類 <table><tr><th>工法</th><th>種 別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材</th><th>絶縁用シート</th><th>立上り部の保護</th></tr><tr><td>・P2A</td><td>・A－1 ・A－2 ・A－3</td><td>図示</td><td rowspan="3"></td><td>※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上 ・</td><td>・乾式保護材 ・コンクリート 沸え</td></tr><tr><td>・PIB</td><td>・B－1 ・B－2 ・B－3</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・P2A I</td><td>・A I－1 ・A I－2 ・A I－3</td><td></td><td>(種類) JIS A 9521 Iに基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種b A（スキン層付き） (厚さmm) ・25 ・50</td><td>※フラットヤーンクロス 70g/m2程度 ・</td></tr><tr><td>・PIB I</td><td>・B I－3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・TIB I</td><td>・B I－2 ・B I－3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書 表3.3.3から3.3.9までによる ・ 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書 表3.3.3から3.3.9までによる ・ 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 ・ 床タイル張り ※水下 60mm以上 ・ ・乾式保護材 ・窯業系バネルⅠ類（寒冷地仕様） 厚さ（ ）mm 幅（ ）mm ・窯業系バネルⅡ類（一般地仕様） 厚さ（ ）mm 幅（ ）mm 窯業系バネルⅢ類：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形したオートクレープ養生したものの ・金属板合板 厚さ（ ）mm 幅（ ）mm 金属板合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの 品質・性能 建築材料等品質性能表による 試験方法 建築材料等品質性能表による 屋根露出防水 防水層の種類 <table><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材</th><th>仕上塗料</th><th>毎日排水排水の通利</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">・M4C</td><td rowspan="4">図示</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td><td>種類</td><td>使用量</td><td rowspan="4">・</td></tr><tr><td>・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・</td><td>・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・</td><td>・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・</td><td>・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>・M3D ・POD</td><td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td><td>・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・</td><td>・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・</td><td rowspan="4">・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td></tr><tr><td>・POD I ・M3D I ・M4D I</td><td>・D I-1 ・D I-2</td><td>改修標準仕様書3.3.2(9) (種類) ・</td><td>・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・</td><td>・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・</td></tr></table> 屋根露出防水水絶縁工法及び屋根露出防水水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング層の製造所の指定 ・ 設置数量 ・個 屋根露出防水水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 ・ 屋内防水 <table><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>保護層</th></tr><tr><td>・PIE</td><td>・E－1</td><td rowspan="2"></td><td>・設ける</td></tr><tr><td>・P2E</td><td>・E－2</td><td>・設けない</td></tr></table> ・E-1の工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 ・ ） 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L＝30×15×2.0mm程度 ・ 屋根排水溝 ・図示 ・	工法	種 別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A－1 ・A－2 ・A－3	図示		※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上 ・	・乾式保護材 ・コンクリート 沸え	・PIB	・B－1 ・B－2 ・B－3				・P2A I	・A I－1 ・A I－2 ・A I－3		(種類) JIS A 9521 Iに基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種b A（スキン層付き） (厚さmm) ・25 ・50	※フラットヤーンクロス 70g/m2程度 ・	・PIB I	・B I－3					・TIB I	・B I－2 ・B I－3					工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	毎日排水排水の通利	備考	・M4C	図示			種類	使用量	・	・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・	・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・	・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・	・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・	・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・	・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・	・M3D ・POD	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・	・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・	・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・POD I ・M3D I ・M4D I	・D I-1 ・D I-2	改修標準仕様書3.3.2(9) (種類) ・	・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・	・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・	工法	種別	施工箇所	保護層	・PIE	・E－1		・設ける	・P2E	・E－2	・設けない
工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法																																																																																																																																									
ⅰ）建築設備、内装等	建築設備・内装材の取外し ・有 ・無	※手作業 ・手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（ ）																																																																																																																																									
ⅱ）屋根ふき材	屋根ふき材の取外し ・有 ・無	※手作業 ・手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（ ）																																																																																																																																									
ⅲ）外装材、	外装材・上部構造の取壊し ・有 ・無	※手作業 ・手作業・機械作業の併用																																																																																																																																									
ⅳ）基礎、基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの取壊し ・有 ・無	※手作業 ・手作業・機械作業の併用																																																																																																																																									
ⅴ）その他	その他の取壊し ・有 ・無	※手作業 ・手作業・機械作業の併用																																																																																																																																									
工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法																																																																																																																																									
ⅰ）造成等、基礎ぐい	造成等の工事 ・有 ○無	・手作業 ・手作業・機械作業の併用																																																																																																																																									
ⅱ）基礎	基礎・基礎ぐいの工事 ・有 ○無	・手作業 ・手作業・機械作業の併用																																																																																																																																									
ⅲ）上部構造部分、外装	上部構造部分、外装の工事 ・有 ・無	・手作業 ○手作業・機械作業の併用																																																																																																																																									
ⅳ）屋根	屋根の工事 ・有 ○無	・手作業 ・手作業・機械作業の併用																																																																																																																																									
ⅴ）建築設備、内装等	建築設備、内装等の工事 ○有 ・無	・手作業 ○手作業・機械作業の併用																																																																																																																																									
ⅴ）その他	その他の工事 ・有 ○無	・手作業 ・手作業・機械作業の併用																																																																																																																																									
特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設の種類	所 在 地																																																																																																																																									
コンクリート																																																																																																																																											
コンクリート及び鉄から成る建設資材																																																																																																																																											
木材																																																																																																																																											
アスファルト・コンクリート																																																																																																																																											
工法	種 別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護																																																																																																																																						
・P2A	・A－1 ・A－2 ・A－3	図示		※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上 ・	・乾式保護材 ・コンクリート 沸え																																																																																																																																						
・PIB	・B－1 ・B－2 ・B－3																																																																																																																																										
・P2A I	・A I－1 ・A I－2 ・A I－3			(種類) JIS A 9521 Iに基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種b A（スキン層付き） (厚さmm) ・25 ・50	※フラットヤーンクロス 70g/m2程度 ・																																																																																																																																						
・PIB I	・B I－3																																																																																																																																										
・TIB I	・B I－2 ・B I－3																																																																																																																																										
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	毎日排水排水の通利	備考																																																																																																																																					
・M4C	図示			種類	使用量	・																																																																																																																																					
				・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・	・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・																																																																																																																																						
				・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・	・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・																																																																																																																																						
				・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・	・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・																																																																																																																																						
・M3D ・POD	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・	・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・	・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																					
・POD I ・M3D I ・M4D I	・D I-1 ・D I-2			改修標準仕様書3.3.2(9) (種類) ・	・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・		・アスファルトルーフィング層の製造所の仕様による ・																																																																																																																																				
工法	種別			施工箇所	保護層																																																																																																																																						
・PIE	・E－1				・設ける																																																																																																																																						
・P2E	・E－2	・設けない																																																																																																																																									
月 日:			月 日:			株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第3977号 市川 司			設計 一級建築士 第266489号 山口 裕之			整理番号 縮 尺 年 月 日 AI - A3 -		川越南小学校洋式トイレ化工事 改修特記仕様書（1）		NO. T — 01 08																																																																																																																											

9 防水改修工事	6 改質アスファルトシート防水	[3.4.2、3]							
		防水層の種類							
		工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料		毎日射反比率防水の適用 [G]	備考
		・M4S	・AS-I1 ・AS-T2 ・AS-U2	図示		種類	使用量	・	
			※改質アスファルトシートの製造所の仕様による			※改質アスファルトシートの製造所の仕様による			
		・W3AS	・AS-I3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3		※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	
・POAS	・AS-I3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない		
	改修標準仕様書 3.3.2(3) (ウ) (種類)			※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける 防湿層 ・設ける ・設けない		
7 合成高分子系シート防水ルーフィング	改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による							[3.5.2～4] [表3.5.1-3]	
	粘着剤付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による								
	部分粘着剤付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による								
	屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 ・ 個 設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 ・ 個 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート （ ・ 設置しない ） 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0(mm)程度 ・								
	防水層の種類								
	工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料		毎日射反比率防水の適用 [G]		備考
	・POS ・S4S	・SF-F1 ・SF-F2 ・SM-M1 ・SM-H2 ・SM-M3	図示		ルーフイングシートの製造所の仕様による	※ルーフイングシートの製造所の仕様による	・		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
		・SSS			・SF-F1 ・SF-F2		ルーフイングシートの製造所の仕様による		※ルーフイングシートの製造所の仕様による
・M4S	・SM-M1 ・SM-H2 ・SM-M3			ルーフイングシートの製造所の仕様による	※ルーフイングシートの製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない		
	・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1			改修標準仕様書 3.5.2(3) (イ) (a) (種類)	ルーフイングシートの製造所の仕様による	※ルーフイングシートの製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	
(厚さmm) ・25 ・50									
・SM-W2の場合で立上がり接着工場の場合 立上り面のシート厚さ（※1.5mm） ・S1-M1及びS1-W2の場合における防湿フィルム ・設置する ・ 設置しない									
屋内防水 防水層の種類									
種別	施工箇所	保護層		保層					
・S-C1	図示	平場のモルタル塗り		立上り部の保護モルタル塗厚					
		塗り厚さ	工法	※7mm以下					
床塗りの場合の床の目地 目地割り（※2m程度 最大目地間隔3m程度） 目地の種類（※押し目地）									
ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による 絶縁用シートは材料 ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板 脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ 個 接着工法の目地処理 ・ プレキャストコンクリート下地（ ・ 行わない ） プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別SF-F1、S1-F1の場合） 機械的固定工法の場合は一般部のルーフィングシートは張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法									
③ 遮断防水									
9 シーリング									
10 とい									
11 アルミニウム製笠木									
[3.6.2、3]									
外壁改修工事（共通事項）									
工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高反射率防水の適用 [G]		備考		
・PDK	※X-1 ・X-2	図示	種類	使用量	※製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない		
	○4R		※X-1 ・X-2	※製造所の仕様による	※製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ○設けない		
ウレタンゴム系遮断防水 X-1（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※主材料の製造所の仕様 ・ 個 設置数量 ※主材料の製造所の仕様 ・ 個									
工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量		保護層				
・PIY	※I-Y2		※主材料の製造所の仕様による		・設ける ・設けない				
・P2Y	※I-Y2		※主材料の製造所の仕様による		・設ける ・設けない				
シーリング改修工法の種類 ・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ボンドブローカー張り ・適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない									
シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書 表3.7.1による。									
施工箇所		シーリング材の種類（記号）							
シーリング材の目寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(1) (7) ～(9)による シーリング材の接合性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験									
とその他の材料 ・配管用銅管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ルーフドレン ・ ルーフドレンの材料種その他									
種別		材 種		張掛け幅					
・ろく屋根用（ ・縦型 ・横型 ）				・100mm以上 ・50mm以上					
・バルコニー用				・100mm以上 ・50mm以上					
・バルコニー中継用				・100mm以上 ・50mm以上					
とい受金物及び足金物の材質、形状及び取り付け関係 ※標準仕様書 表3.8.2により溶融亜鉛メッキを行ったもの ・ 多電地域の軒ど取付関係 ・適用する ロックウール保温筒及びびーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 ・ 銅管製の防露巻き ※改修標準仕様書 表3.8.4による ・									
種類 ・オープン形式（ ・押出250形 ・押出300形 ・押出350形 ） ・板材折曲げ形（ ・オープン形式 ・シール形式 ） 本体幅（ ） mm 板厚（ ※2.0mm ） mm 表面処理 種別 ・ 着色 ・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ 既存笠木の撤去 ・行う（範囲） ・図示 ・ 下地補修の工法 ※図示 ・ 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 ・ 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法									
[3.8.2、3]									
外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）									
1 施工数量調査									
調査範囲 ・外壁改修範囲 ・図示の範囲 調査内容 ひび割れの幅及び長さ等を調査する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び排水の流出の有無を調査する。 モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分、欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及び剥落部分を調査する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及び剥落部分を調査する。また、既存塗装と新規塗装との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・ 調査報告書の部数 ・2部 ・									
性能 工事建築材料等品質性能表による									
品質・性能 工事建築材料等品質性能表による									
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 品質・性能 工事建築材料等品質性能表による 試験方法 工事建築材料等品質性能表による									
[1.5.2、3]									
3 浮き部改修工事									
[4.1.4] [4.2.2] [4.4.10～15]									
工法の種類									
アンカーピンの本数（本/m2）									
注入口の数（箇所/m2）									
注入量（mL/箇所）									
・アンカーピンニング									
部分エポキシ樹脂注入工法									
全面エポキシ樹脂注入工法									
・アンカーピンニング									
全面ポリマーセメントスラリー注入工法									
・注入口付アンカーピンニング									
部分エポキシ樹脂注入工法									
・注入口付アンカーピンニング									
全面エポキシ樹脂注入工法									

5

18 ガラス

フロート板ガラス

品種及び厚さの呼びによる種類

※建具表による

型板ガラス

厚さによる種類

※建具表による

網入板ガラス及び線入板ガラス

網又は線の形状、板の表面の状況及び厚さの呼びによる種類

※建具表による

合わせガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ

※建具表による

形状による種類

・平面合わせガラス

・曲面合わせガラス

落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類

・Ⅰ類

・Ⅱ－Ⅰ類

・Ⅱ－Ⅱ類

・Ⅲ類

強化ガラス

形状による種類、材料板ガラスの種類による名称

※建具表による

破片の状況及びショットバック衝撃特性による種類

・Ⅰ類

・Ⅲ類

熱線吸収板ガラス

板ガラスによる種類、厚さによる種類

※建具表による

性能による種類

・Ⅰ種

・Ⅱ種

複層ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ

※建具表による

断熱性による区分

・Ⅰ

・Ⅱ

・Ⅲ

・Ⅳ

・Ⅴ

・Ⅵ

日射取得性、日射遮蔽性による区分

・Ⅰ

・Ⅱ

・Ⅲ

・Ⅳ

・Ⅴ

・Ⅵ

乾燥気体の種類

・空気

・アルゴン

熱線反射ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

※建具表による

日射熱遮へい性による区分

・Ⅰ種

・Ⅱ種

・Ⅲ種

耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分がⅡ種の場合）

・Ⅰ類

・Ⅱ類

映像調整

・行わない

・行う

倍強度ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

※建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による ・図示
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示

19 ガラスブロック

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調	目地幅(mm)	伸縮調整	防火性能
・正方形	・125×125	・80	・乳白	・平種	・曲面積み	・性能
	・160×160	・95	・125	・8～15	・外側	※6m以下ごと
				・15～25	・内側	※15以下
	・200×200	・95	・125			※6以上
	・320×320	・95	・125			
・長方形	・250×125	・80	・125			
	・320×160	・95	・125			

20 ガラス用フィルム

種 類	記号	性 能 等
・日射調整フィルム	・SC－1	・SC－2
・低放射フィルム	・LE	
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI－1	・GI－2

品質 JIS A 5759による。

6

内装改修工事

① 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上に準じた仕上げを行う

・図示

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上に準じた仕上げを行う

・図示

既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修

※既存のまま

・図示

② 既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート、タイル等の除去

※仕上材のみ（接着剤とも）

○下地モルタルとも

○図示の範囲

・除去範囲全て

合成樹脂塗床材の除去工法

・機械的除去工法

・目張り工法

既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。

改修後の床の清掃範囲

※図示

3 既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修

※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り

（塗り厚25mmを超える場合の処置

※図示）

4 木下地等の表面仕上げ

表面仕上げの種別

・A種

・B種

・C種

・H－A種

・H－B種

・H－C種

適用箇所

5 製材

「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※2級		※A種・B種		・
			※2級		※A種・B種		・

「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面			※上小節		※A種・B種		・
見え掛り面以外			※小節以上		※A種・B種		・

「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※1等		※10%以下	・A種・B種	・
			※1等		※10%以下	・A種・B種	・

「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
			(造作材の場合 ※A種・B種)	・適用する	※A種・B種	・
			(造作材の場合 ※A種・B種)	・適用する	※A種・B種	・

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

「集材材の日本農林規格」による造作用集材材

施工箇所	樹 種	寸法(mm)	見付け材面の品質	見付け材面の品質	間伐材等の適用
			※1等・2等	・	・
			※1等・2等	・	・

「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材

施工箇所	樹 種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
				※1等・2等	・
				※1等・2等	・

「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材

施工箇所	樹 種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下	・
				※15%以下	・

7 造作用単板積層材

「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材材

施工箇所	樹 種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下	・	・
				※15%以下	・	・

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り(天然木加工・塗装加工)	・適用する	・
		・無し()	・適用しない	・
		・有り(天然木加工・塗装加工)	・適用する	・
		・無し()	・適用しない	・

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り(天然木加工・塗装加工)	※14%以下	・適用する	・
		・無し()	・	・適用しない	・
		・有り(天然木加工・塗装加工)	※14%以下	・適用する	・
		・無し()	・	・適用しない	・

・C L T（直交集成板）

施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(使用濃度)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・
							・

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

・普通合板

施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接合の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5		※1種・2種	・広葉樹 ※2等以上 ・針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・

・構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※2種以上		※1種・特種	※12	・適用する ・適用しない	()	・	
	・1種							

「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接合の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・1種・特種		・

「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接合の程度	防虫処理の適用
			・1種・2種	・適用する()

「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接合の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・1種・2種			・適用する()	・

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状況による区分	曲げ強さによる区分	耐水性	難燃性	厚さ(mm)
		※13タイプ	※P又はM		※15

9 接着剤

「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材材

施工箇所	樹 種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
					※15%以下	・
					※15%以下	・

「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集材材

施工箇所	樹 種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
					※15%以下	・
					※15%以下	・

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り(天然木加工・塗装加工)	・適用する	・
		・無し()	・適用しない	・
		・有り(天然木加工・塗装加工)	・適用する	・
		・無し()	・適用しない	・

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り(天然木加工・塗装加工)	※14%以下	・適用する	・
		・無し()	・	・適用しない	・
		・有り(天然木加工・塗装加工)	※14%以下	・適用する	・
		・無し()	・	・適用しない	・

・C L T（直交集成板）

施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(使用濃度)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・
							・

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

・普通合板

施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接合の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5		※1種・2種	・広葉樹 ※2等以上 ・針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・

・構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※2種以上		※1種・特種	※12	・適用する ・適用しない	()	・	
	・1種							

「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接合の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・1種・特種		・

「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接合の程度	防虫処理の適用
			・1種・2種	・適用する()

「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接合の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・1種・2種			・適用する()	・

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状況による区分	曲げ強さによる区分	耐水性	難燃性	厚さ(mm)
		※13タイプ	※P又はM		※15

10 防霉・防蟻処理

防霉、防蟻処理を省略できる樹種による製材

適用部位 ()

・薬剤の加圧注入による防霉・防蟻処理

適用部材

保存処理性能区分

・K 2

・K 3

・K 4

・薬剤の塗布等による防霉・防蟻処理

適用部材

処理の方法

※改修標準仕様書6.6.5 (1) (b) ② 7～11による

薬剤の種類

※JIS A 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防霉、防蟻処理

適用部位 ()

野縁等の種類

屋外

※25形

・19形

屋内

※9形

・25形

・屋外の軒天井、ピロティ天井等

工法

建築基準法に基づき定まる(・Ⅰ・Ⅰ.15・Ⅰ.3)の風圧力に対応した工法

野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔

・図示

周辺部の端からの間隔

・図示

野縁の間隔

・図示

既存の埋込みインサート

○使用する

・使用しない

あと施工アンカーの確認試験

・行う

箇所数

※屋内の場合、当該階において3箇所

確認強度

※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面構成部材等の単位面積当たりの質量が20kg/m2 以内の天井の場合、400N程度

・行わない

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法

※図示

・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合の補強方法

※改修標準仕様書6.6.4(8)による

・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法

※図示

・天井の下地材における耐震性を考慮した補強

補強面所

※図示

補強方法

※図示

⑪ 軽鋼鉄骨天井下地

スタッド、ランナーの種類

※改修標準仕様書 表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類

・図示

スタッドの高さが5.0mを超える場合

※図示

出入口及びこれに準ずる開口部の補強

※改修標準仕様書6.7.4(5)による

・図示

12 軽鋼鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類

※改修標準仕様書 表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類

・図示

スタッドの高さが5.0mを超える場合

※図示

出入口及びこれに準ずる開口部の補強

※改修標準仕様書6.7.4(5)による

・図示

⑬ ビニル床シート

種類の記号

色 柄

厚さ(mm)

※F S

・無地

※2.0

・マーブル柄

・

・柄物

・

目地処理する場合の工法

※熱溶接工法

・

14 ビニル床タイル

種類の記号

色 柄

寸 法

厚さ(mm)

※K T

・無地

・300×300

※2.0

・T T

・柄物

・450×450

・2.5

・F T

・

・3.0

・F O A

・F O B

5

建具改修工事

月

日

月

日

株式会社 市川三千男総合設計

三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659

一級建築士 第 93977号 市川 司

設 計

一級建築士 第266489号 山口 裕之

整理番号

縮 尺

年 月 日

AI -

A3 -

川越南小学校洋式トイレ化工事

改修特記仕様書(4)

NO.

T — 04

08

[illegible]

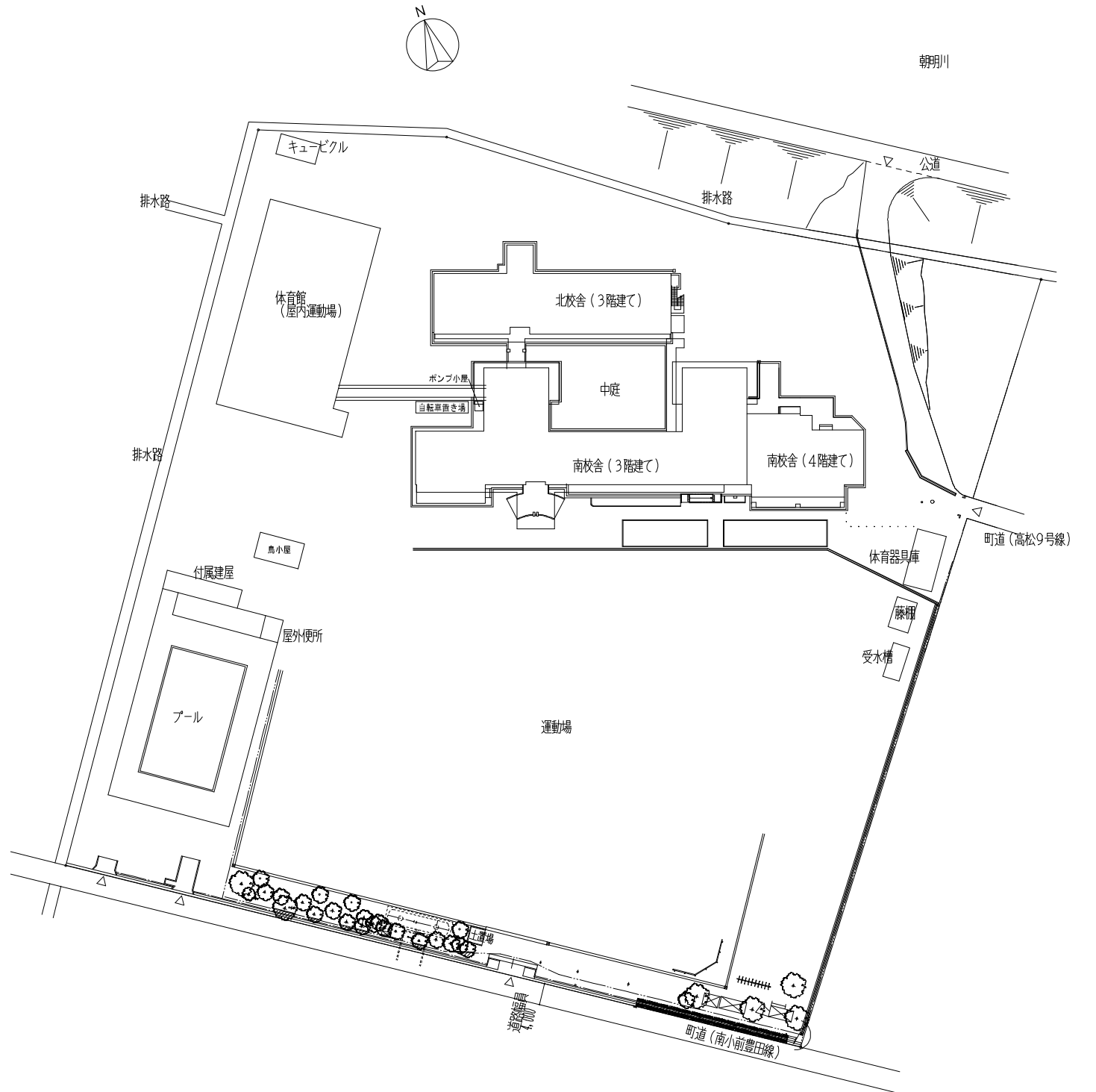
[illegible]

8 耐震 改修 工事	11 仮組	仮組を行う範囲 ・ 図示による () ・ [8. 13. 10]	8 耐震 改修 工事	8-4 あと施工アンカー 工事 1 あと施工アンカー [8. 2. 4]	材料等 ・ 金属系アンカー ・ 引張耐力 ・ せん断耐力 ・ アンカー本体の径及び埋込み長さ ・ セット方式 ※ 本体打込み式改良型 ・ 接合部の種類、径、長さ ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による () ・ ・ 接着系アンカー ・ 引張耐力 ・ せん断耐力 ・ アンカーの種類 ・ 接着剤の品質 ・ 有磯系 ・ 無磯系 ・ アンカー防の径及び埋込み長さ ・ アンカー筋の種類 ・ アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示による () ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による () ・ [8. 12. 4]	8 耐震 改修 工事	8-6 連続繊維補強工事 1 連続繊維シート [8. 2. 13] [8. 24. 6]	連続繊維の材料 ・ 炭素繊維 ・ アラミド繊維 引張強度 (含浸硬化後) ヤング係数 (含浸硬化後) ・ () N/mm ² ・ () N/mm ² ・ ・ ・ 下地処理 ・ ひび割れ部改修 [8. 24. 7] 範囲 種類 ・ 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ・ 図示による () ・ 連続繊維補強材の強度試験 ・ 引張強度試験 ※ JIS A 1191 (コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法) による ・ 試験数量 ・ 図示による () ・ ・ 付着強度試験 ※ JIS A 6909 (建築用仕上塗材) による ・ 試験数量 ・ 図示による () ・ [8. 24. 7] 補強工事後の仕上げ ・ 図示による () ・			
	12 増接技能者の技量 付加試験	試験の要領 ・ 図示による () ・ [8. 15. 3]		2 穿孔	埋込み配管等の探査方法 ・ 鉄筋探知機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつり出しによる ・ [8. 12. 4]		2 仕上げ	2 スリットの方式、 幅及び深さ [8. 25. 2] 方式 ・ 完全 ・ 部分 幅及び深さ ・ 図示による () ・ 設置箇所 ・ 図示による () ・			
	13 増接接合	開先の形状 ・ 図示による () ・ ・ エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・ 図示による () ・ 切断範囲 ・ ・ エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線上に 切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する 切断面の仕上げ ・ 改修標準仕様書8. 15. 7 (1) (a) (b) ②による ・ ・ スカラップの形状 ・ 図示による () ・		3 施工確認試験	試験方法 ※ 引張試験機による引張試験 ・ ・ 確認強度 ・ 図示による () ・ [8. 12. 7]		2 スリットの施工前 の埋込み配管等の 探査	既存撤去部の埋込み配管等の探査方法 ・ 鉄筋探査機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出し を行う ・ はつりだしによる ・ [8. 12. 4]			
	14 入熱、バス間温度 の溶接条件	鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 ・ 図示による () ・ 適用箇所 ・ 図示による () ・ ・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部		8-5 グラウト工事 1 柱底均しモルタル 及びグラウト材 [8. 2. 12]	3 スリットの充填材 の挿入及び 周囲補修等		・ 耐火材 使用箇所及び仕様 ・ 図示による () ・ ・ 遮音材 使用箇所及び仕様 ・ 図示による () ・ 撤去部の補修 ・ ※撤去材と同一材で補修				
15 溶接部の試験	平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・ 「突合わせ継手の食い違い仕口のすれの検査・補強マニュアル」3. 5. 2 受入 検査による ・ 抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準] の付表3「溶接」に関する試験方法等 JASS 6 10. 4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査 (1) から (5) までによる。 ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き箇所は、超音波探傷試験の試験 箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7. 6. 13による 補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・ 工場溶接の場合 ※全数 ・ 工事現場溶接の場合 ※全数 [8. 15. 12]	2 穿孔	8-7 耐震スリット工事 1 スリットの方式、 幅及び深さ [8. 25. 2] 方式 ・ 完全 ・ 部分 幅及び深さ ・ 図示による () ・ 設置箇所 ・ 図示による () ・	8-8 土工事及び 地業工事 ① 埋戻し及び盛土 [8. 28. 3]	埋戻し及び盛土 ・ A種 適用場所 () ・ B種 適用場所 () 図示による (図面番号 : A-20. 22. 24. 26) ・ C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・ D種 適用場所 () ・ ・ 材料 () 工法 () 適用場所 () ・ [8. 28. 3]						
16 錆止め塗装	塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示による () ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・ 図示による () ・ 塗料の種類 ・ 鉄鋼面の錆止め塗料の種類 ・ A種 ・ B種 ・ 屋内 ・ A種 ・ 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料の種類 ・ 塗料種類 ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の 錆止めの塗料の種類 ※A種 ・ ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・ [7. 3. 3] [8. 17. 2. 4]	3 施工確認試験	8-9 山留めの撤去 [8. 28. 3]	2 山留めの撤去 [8. 28. 3]	鋼矢板等の抜き跡の処理 ※直ちに砂で充填する ・ 山留めの存置 ・ 行う (存置範囲 ※図示 ()) ・ [8. 2. 15] [8. 28. 4] (4. 3. 8)						
17 耐火被覆	種類、材料、工法等 [8. 18. 2~8]	8-5 グラウト工事 1 柱底均しモルタル 及びグラウト材 [8. 2. 12]	3 杭地業 [8. 2. 15] [8. 28. 4] (4. 3. 8)	3 杭地業 [8. 2. 15] [8. 28. 4] (4. 3. 8)	支持筋の位置及び土質 (基礎ぐいの先端位置含む) ・ 図示による () ・ ・ 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 ・ 図示による () ・ ・ 試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 ・ 図示による () ・ ・ 杭の継手の箇所数、材料、工法等 ・ 図示による () ・ ・ 杭の溶接継手 技能資格者の技量 ・ 図示による () ・ 溶接部の確認 ・ 図示による () ・ ・ 杭頭処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による () ・ ・ 杭頭の中詰め材料 ・ 基礎コンクリートと両側合のもの ・ 杭の精度 水平方向のずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 杭の傾斜 ・ 1/100以内 ・ 記録する施工状況等 ・ 図示による () ・ [8. 2. 15] [8. 28. 4] (4. 6. 3)						
18 アンカーボルトの 設置等	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・ 図示による () ・ 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・ 図示による () ・ 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ・ 図示による () ・ 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種類 ・ A種 ・ B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類 厚さ 種類 ※A ・ [7. 10. 3]	8-5 グラウト工事 1 柱底均しモルタル 及びグラウト材 [8. 2. 12]	④ 砂利地業 [8. 2. 15] [8. 28. 4] (4. 6. 3)	④ 砂利地業 [8. 2. 15] [8. 28. 4] (4. 6. 3)	材料 ①再生クラッシャーラン ② ・ 切込砂利又は切込砕石 砂利厚さ ③60mm ・ [8. 2. 15] [8. 28. 4]						
19 鉄骨ブレース設置 後の仕上げ	・ 図示による () ・ [8. 22. 9]	8-5 グラウト工事 1 柱底均しモルタル 及びグラウト材 [8. 2. 12]	5 捨コンクリート 地業 [8. 2. 15] [8. 28. 4]	5 捨コンクリート 地業 [8. 2. 15] [8. 28. 4]	捨コンクリートの厚さ ※50mm ・ コンクリートの種類 ・ ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18 N/mm ² ・ スランプ ※15cm又は18cm ・ 適用箇所 ① 図示による (図面番号 : A-20. 22. 24. 26) 重ね代 ②250mm程度 位置 ③スラブ直下 [4. 6. 2] (4. 6. 5)						

月・日	月・日	株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設計	整理番号	縮 尺	川越南小学校洋式トイレ化工事	NO. T — 07
・	・		一級建築士 第266489号 山口 裕之	年 月 日	AI ~	改修特記仕様書 (7)	
・	・				A3 ~		

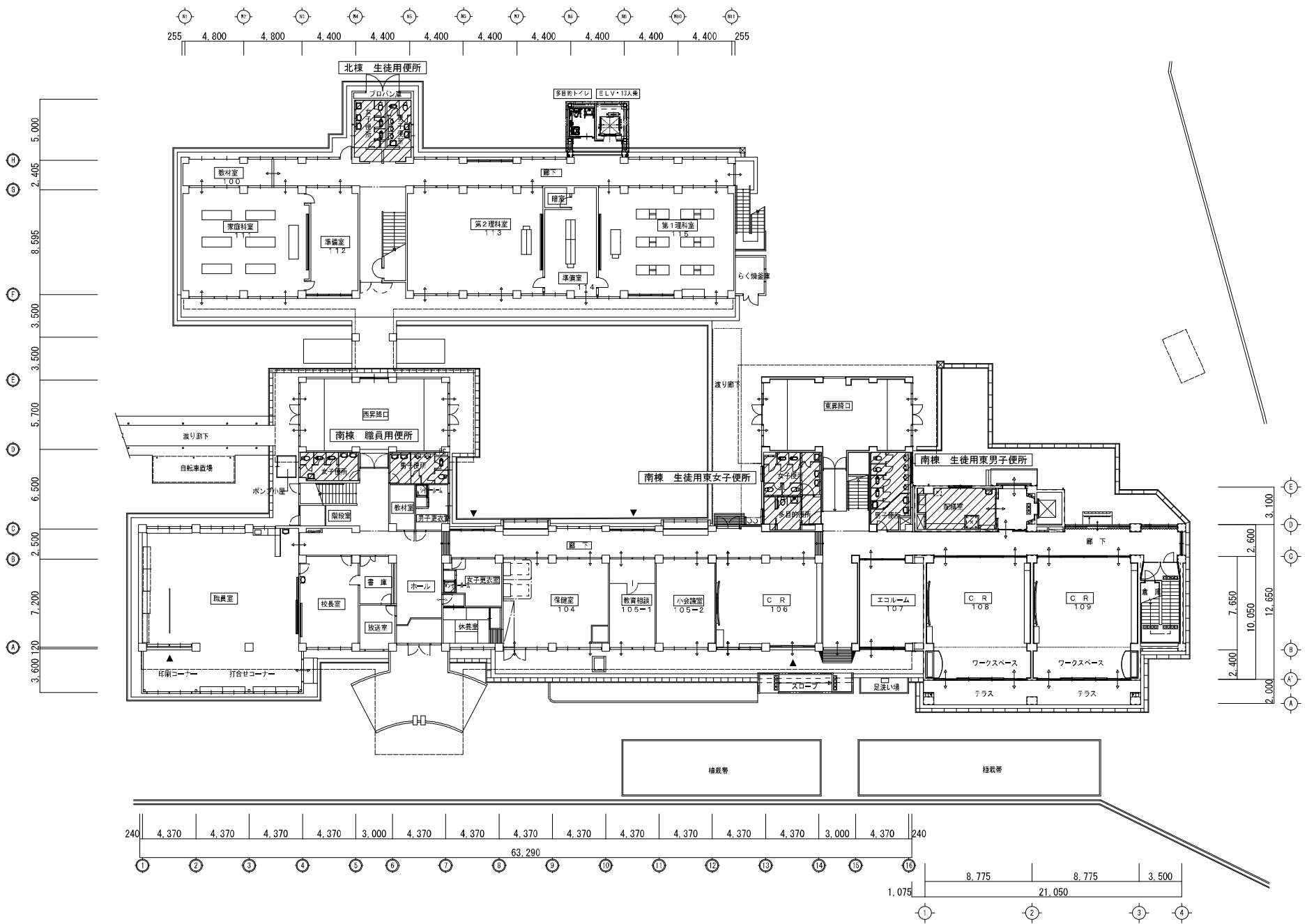


付近見取図



配置図 S=1/500

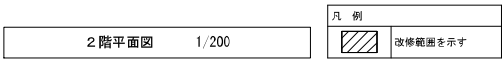
月・日	月・日		株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号 年月日	縮尺 A1 1/500 A3 1/1000	川越南小学校洋式トイレ化工事 付近見取り図、配置図	NO. A-01 18
-----	-----	--	--	----------------------------	-------------	-----------------------------	------------------------------	-------------------



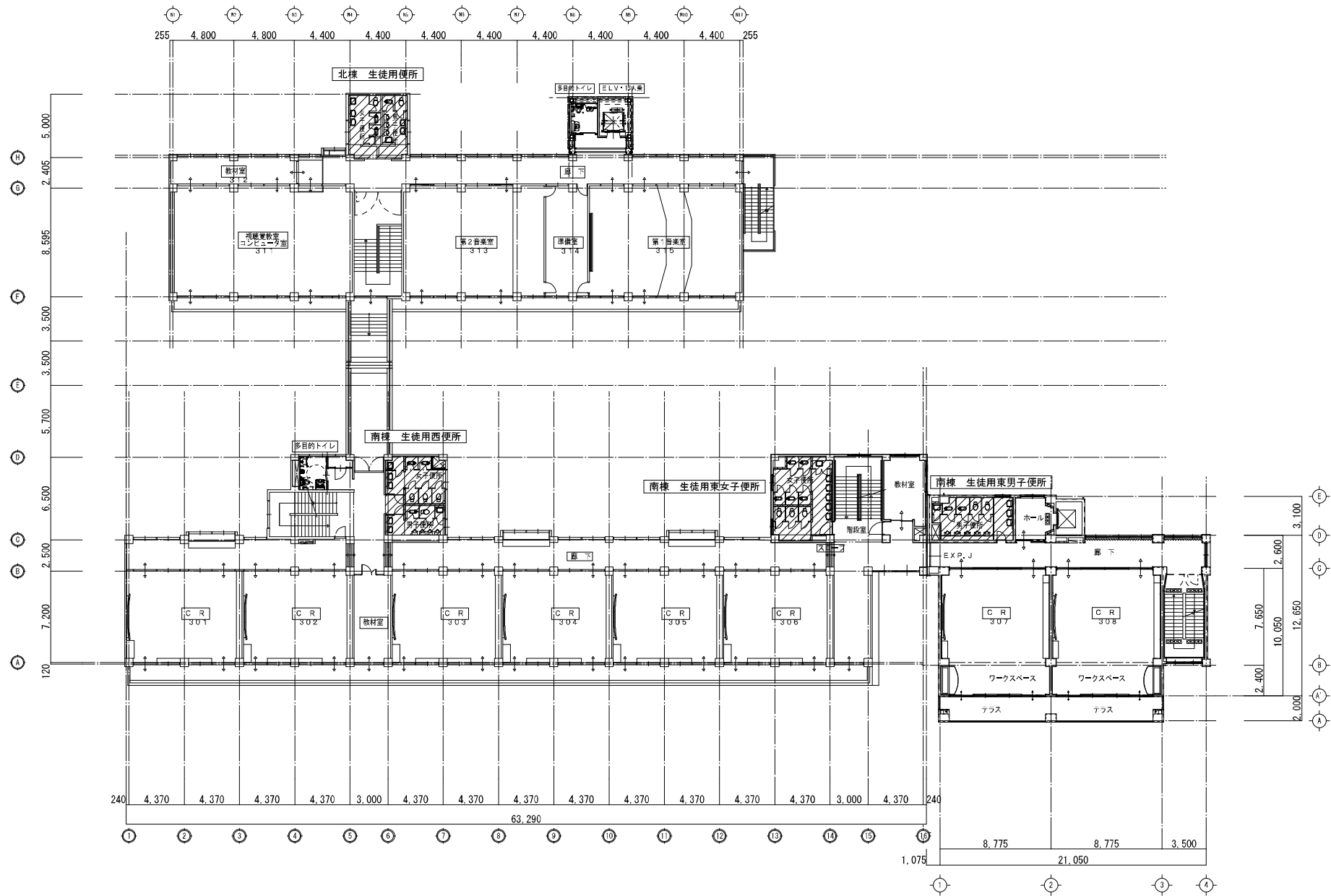
1 階平面図 1/200

凡 例
改修範囲を示す

月・日	月・日		株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号 年 月 日	縮 尺 A1 1/200 A3 1/400	川越南小学校洋式トイレ化工事 1 階平面図	NO. A — 02 18
-----	-----	--	--	----------------------------	---------------	-----------------------------	--------------------------	---------------------



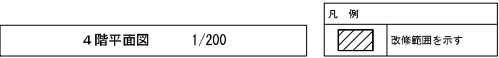
月 日	月 日	株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 1EL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設 計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号	縮 尺	川越南小学校洋式トイレ化工事 2 階平面図	NO.
.	.			年 月 日	A1 1/200		A — 03
.	.				A3 1/400		18
.	.						



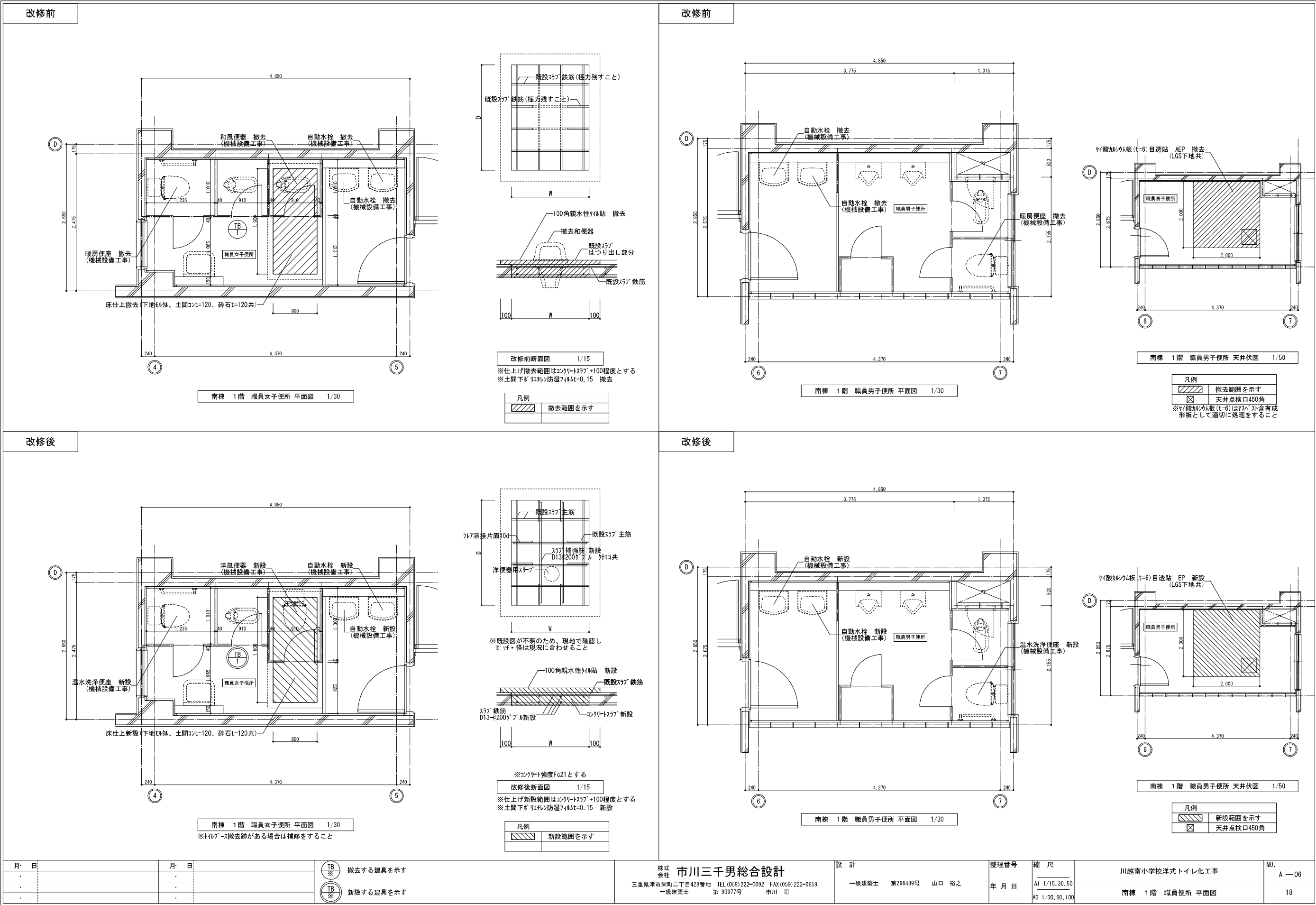
3 階平面図 1/200

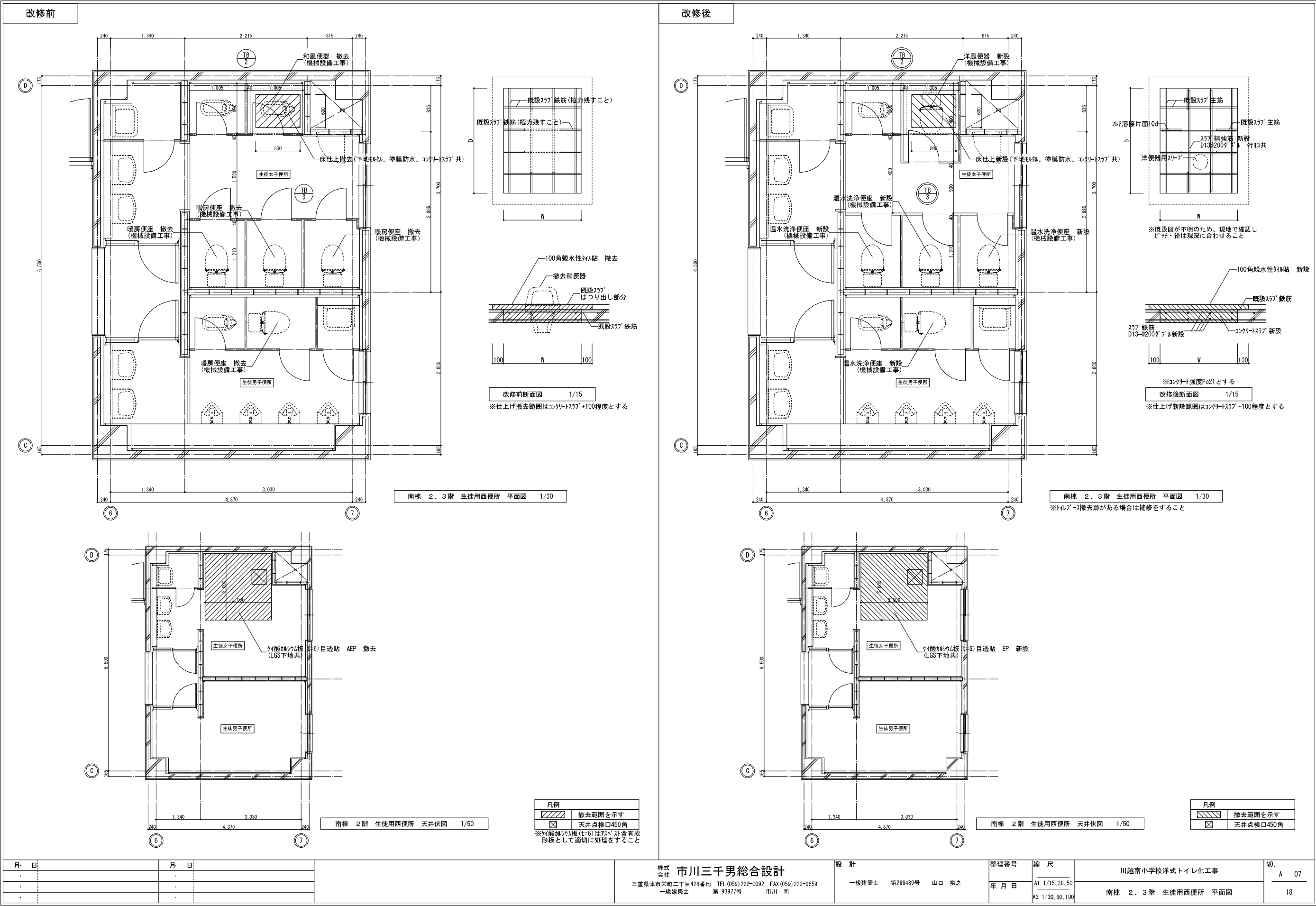
凡 例
改修範囲を示す

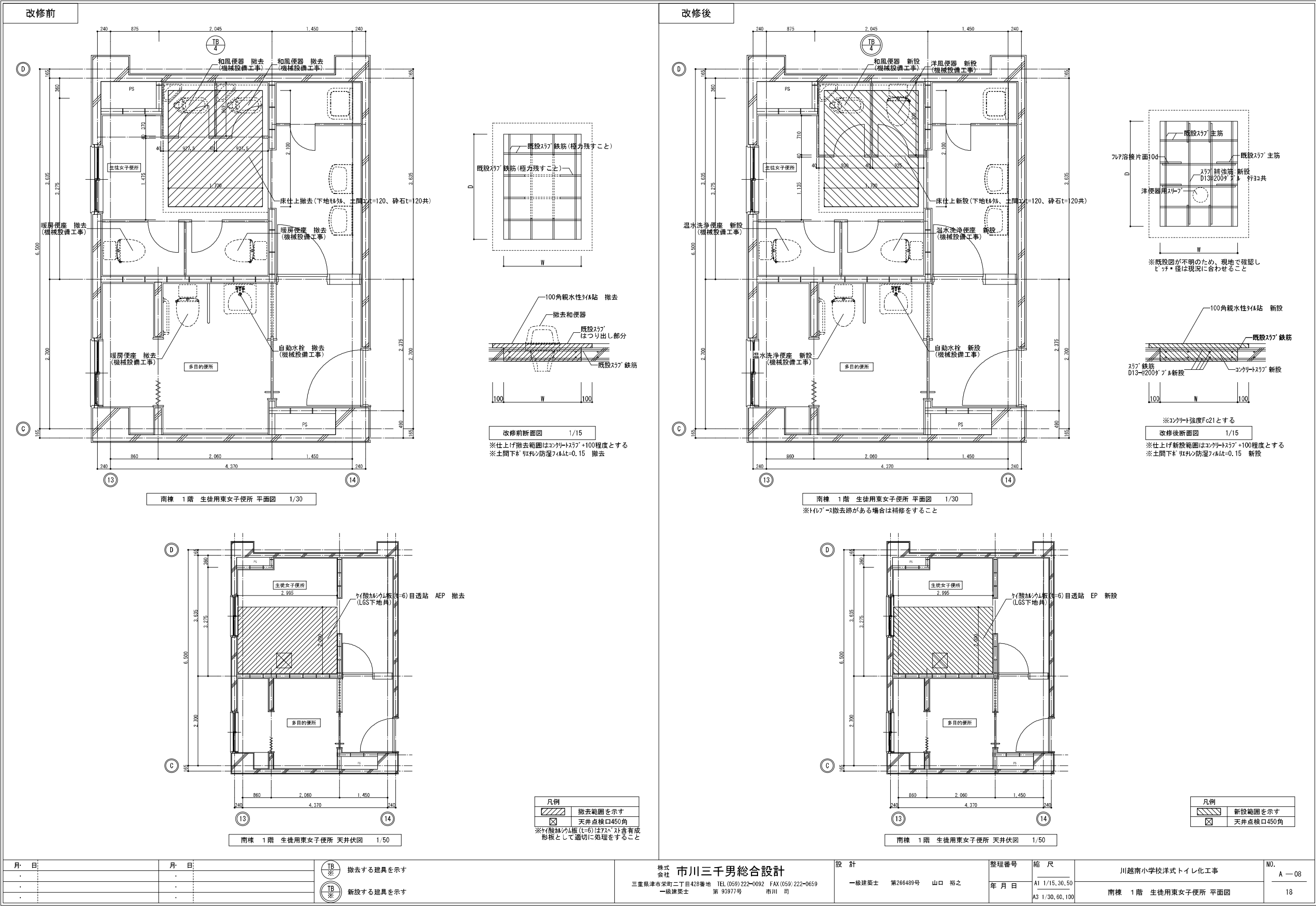
月・日	月・日		株式 会社	市川三千男総合設計	設 計	整理番号	縮 尺	川越南小学校洋式トイレ化工事	NO.
.	.		三重県津市栄町二丁目428番地	TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659	一級建築士 第266489号 山口 裕之	年 月 日	A1 1/200 A3 1/400	3 階平面図	A — 04
.	.		一級建築士 第 93977号 市川 司						18

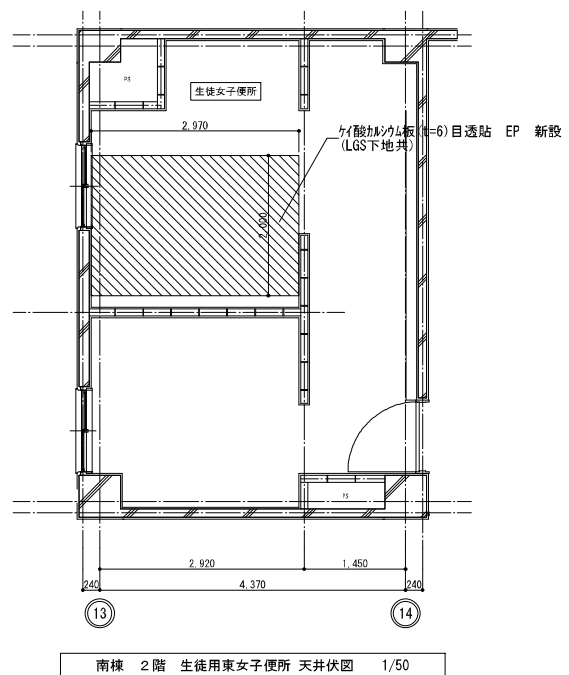
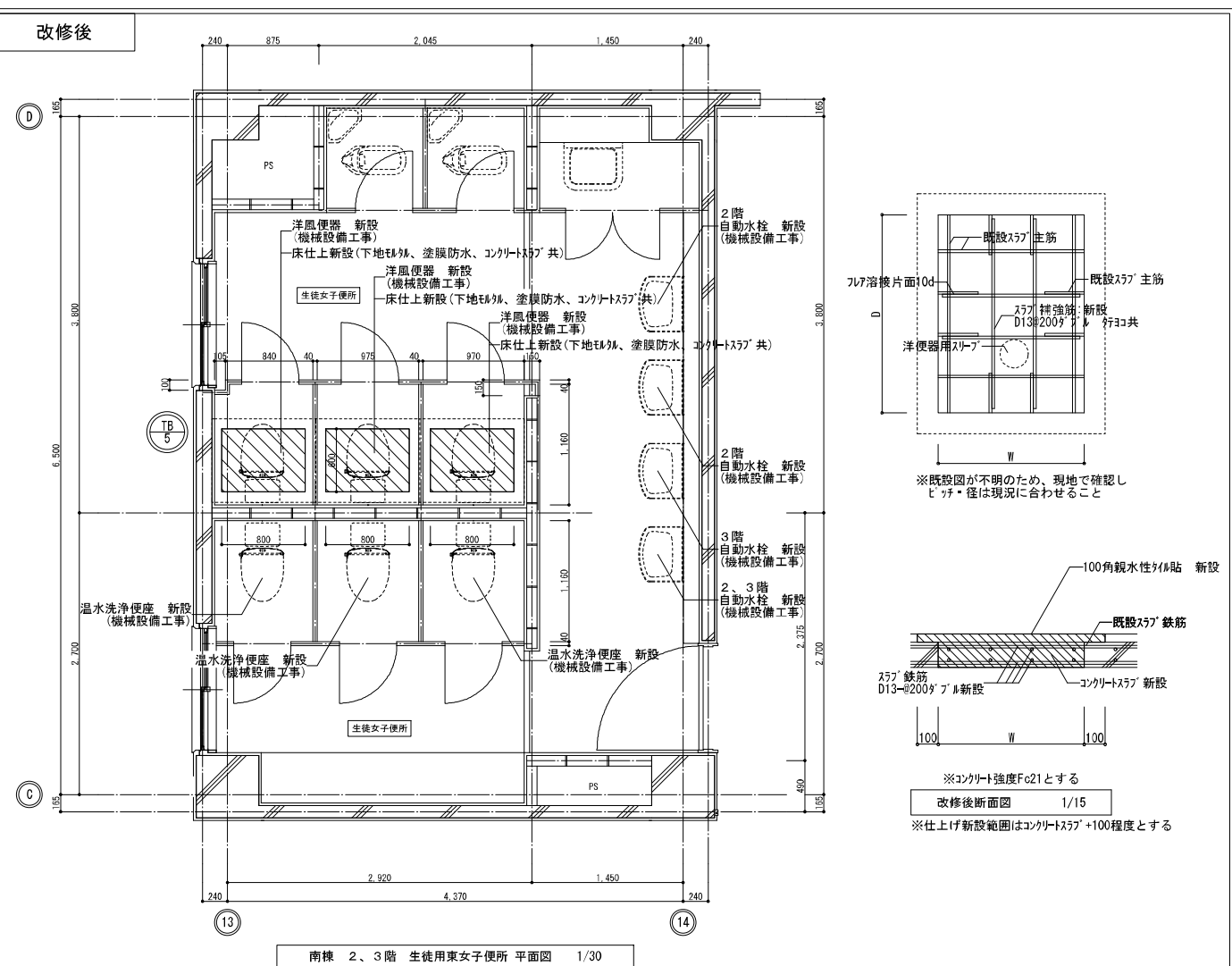


月 日	月 日	株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 1EL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設 計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号	縮 尺	川越南小学校洋式トイレ化工事 4 階平面図	NO.
.	.			年 月 日	A1 1/200		A — 05
.	.				A3 1/400		18
.	.						



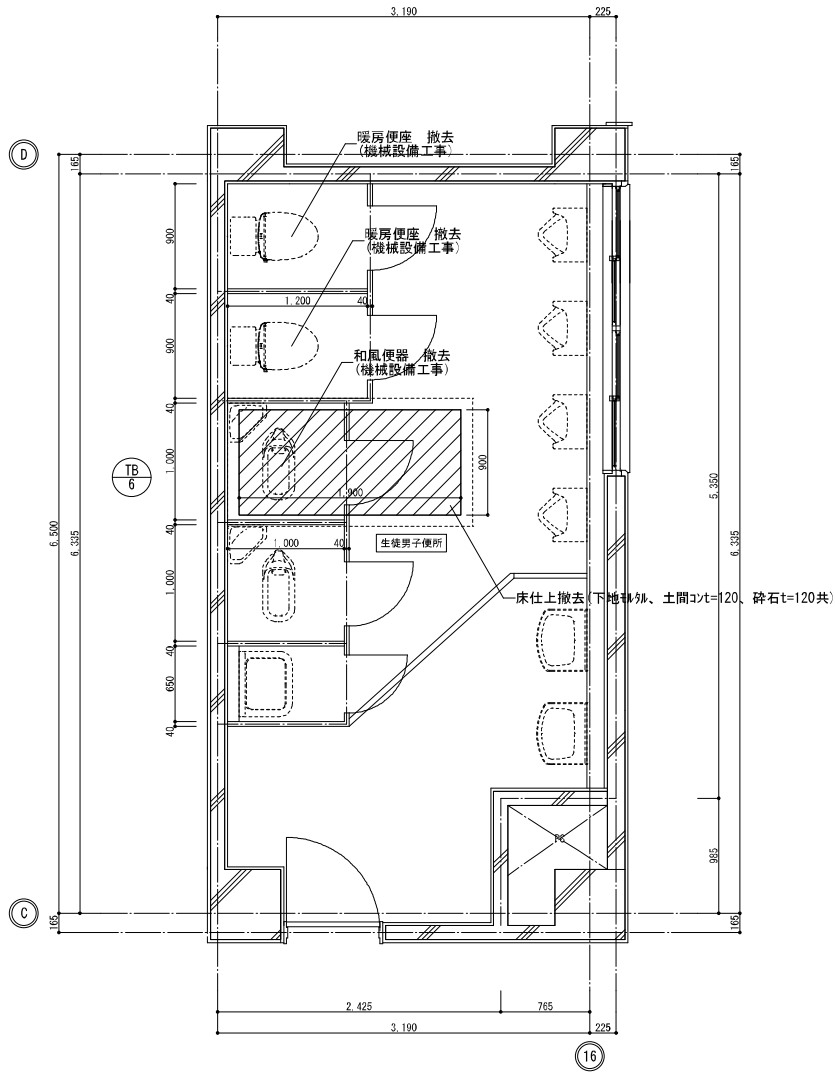




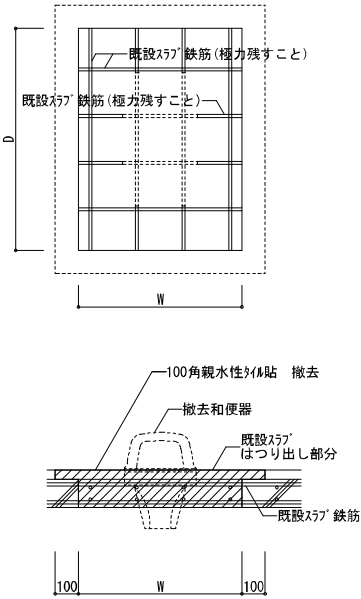


月・日	月・日	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 5px;">TB ※</div> 撤去する建具を示す </div>	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 5px;">TB ※</div> 新設する建具を示す </div>	株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目42番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設 計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号	縮 尺	川越南小学校洋式トイレ化工事 南棟 2、3 階 生徒用東女子便所 平面図	NO.
・	・					年 月 日	A1 1/15, 30, 50 A3 1/30, 60, 100		A — 09
・	・								18
・	・								

改修前



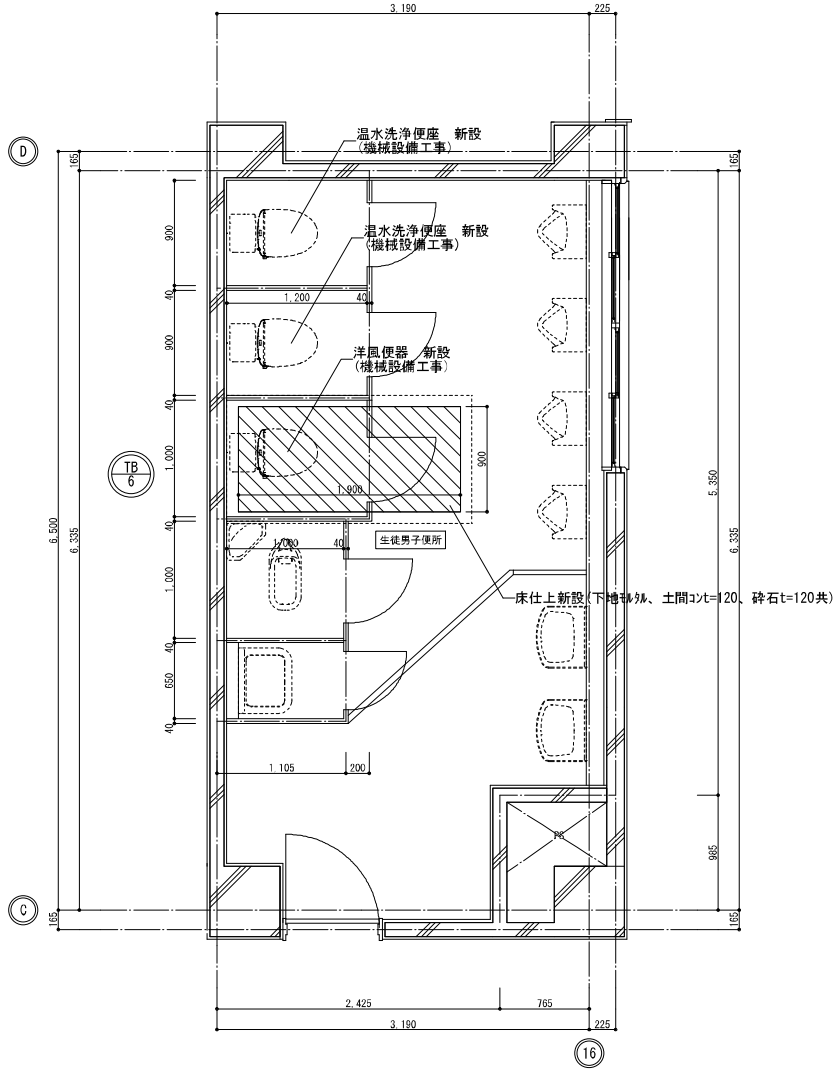
南棟 1階 生徒用東男子便所 平面図 1/30



改修前断面図 1/15
※仕上げ撤去範囲はコンクリートスラブ+100程度とする
※土間下タタキ防湿タタキt=0.15 撤去

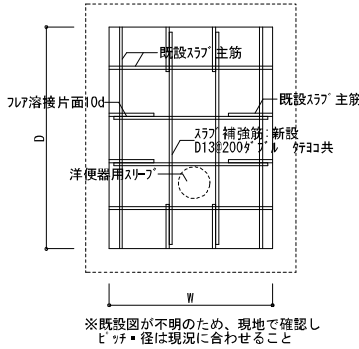
凡例	
	撤去範囲を示す

改修後



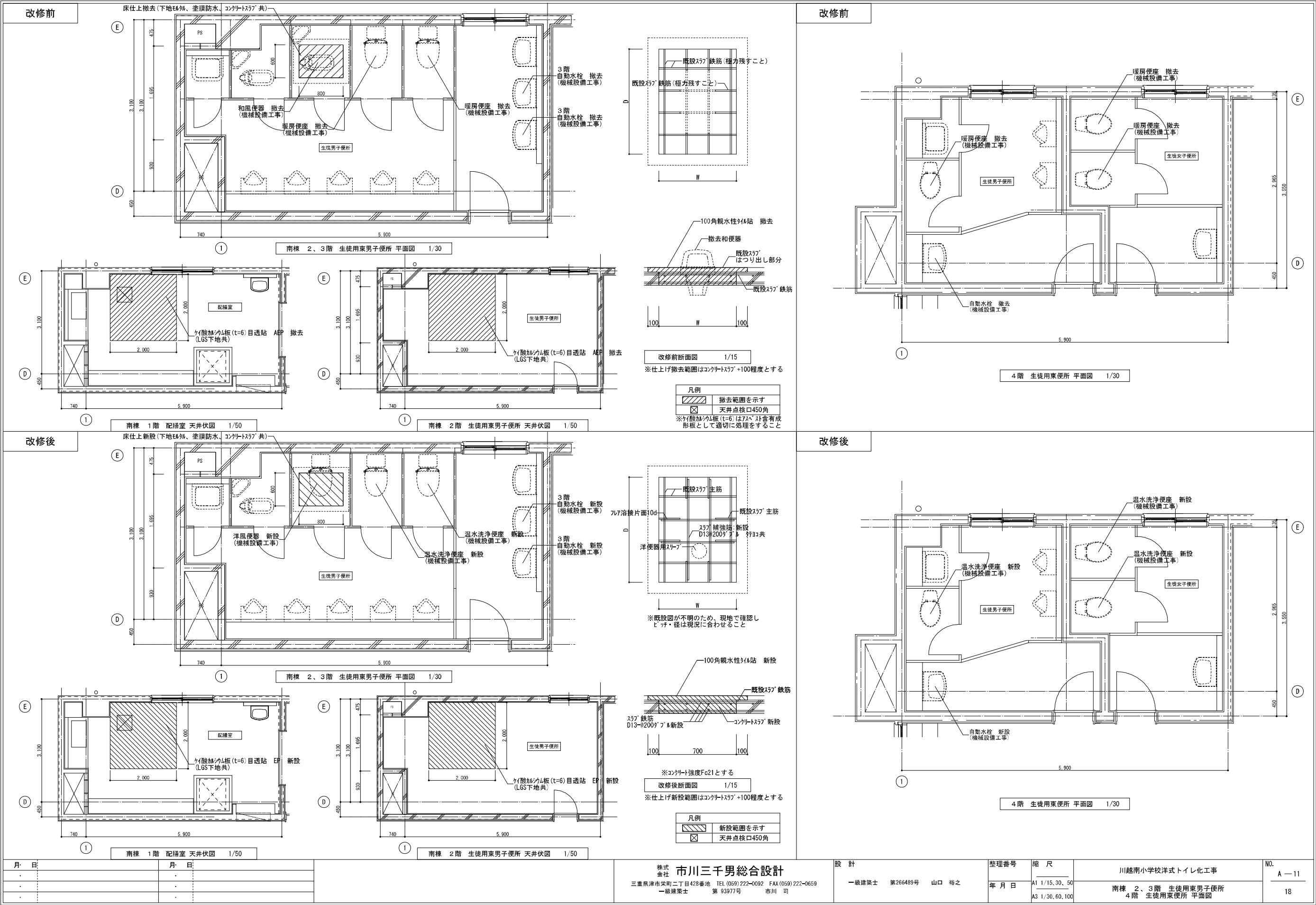
南棟 1階 生徒用東男子便所 平面図 1/30

※トイレタタキ撤去跡がある場合は補修をすること

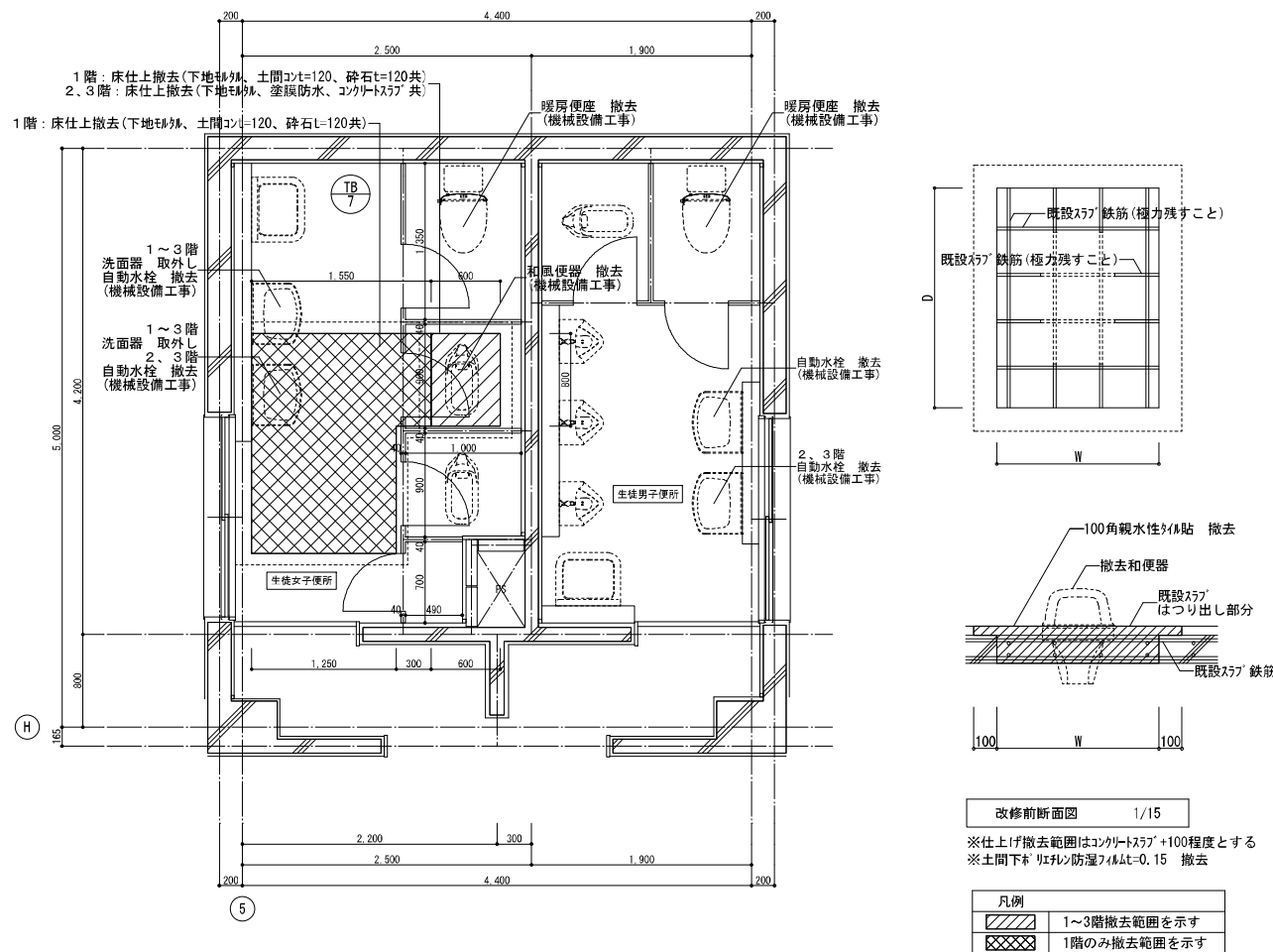


改修後断面図 1/15
※コンクリート強度Fc21とする
※仕上げ新設範囲はコンクリートスラブ+100程度とする
※土間下タタキ防湿タタキt=0.15 新設

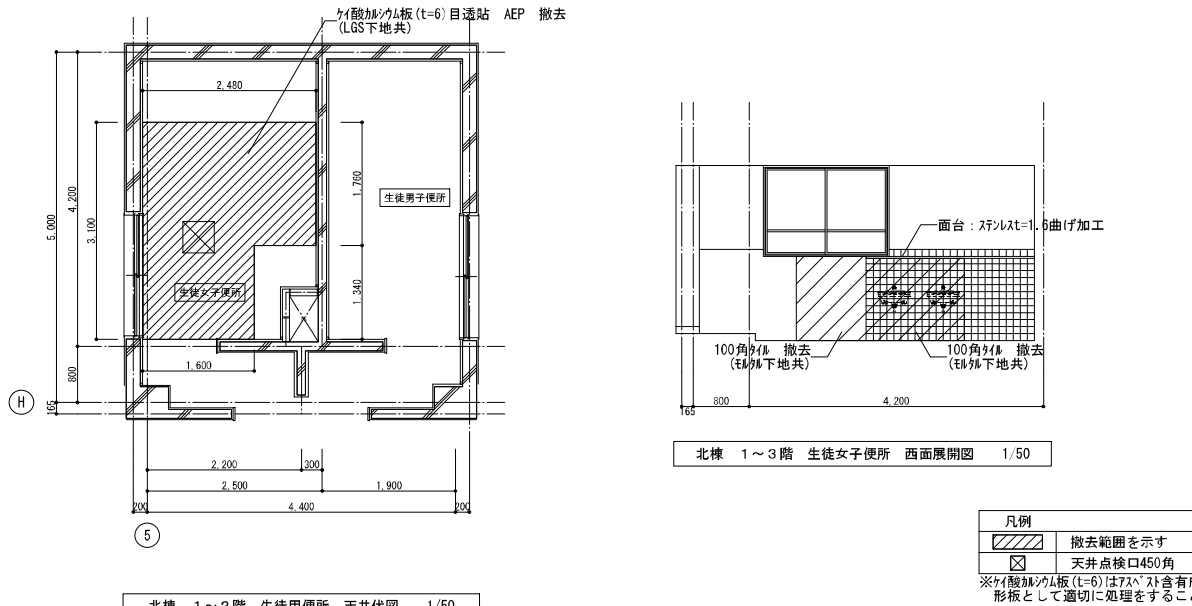
凡例	
	新設範囲を示す



改修前

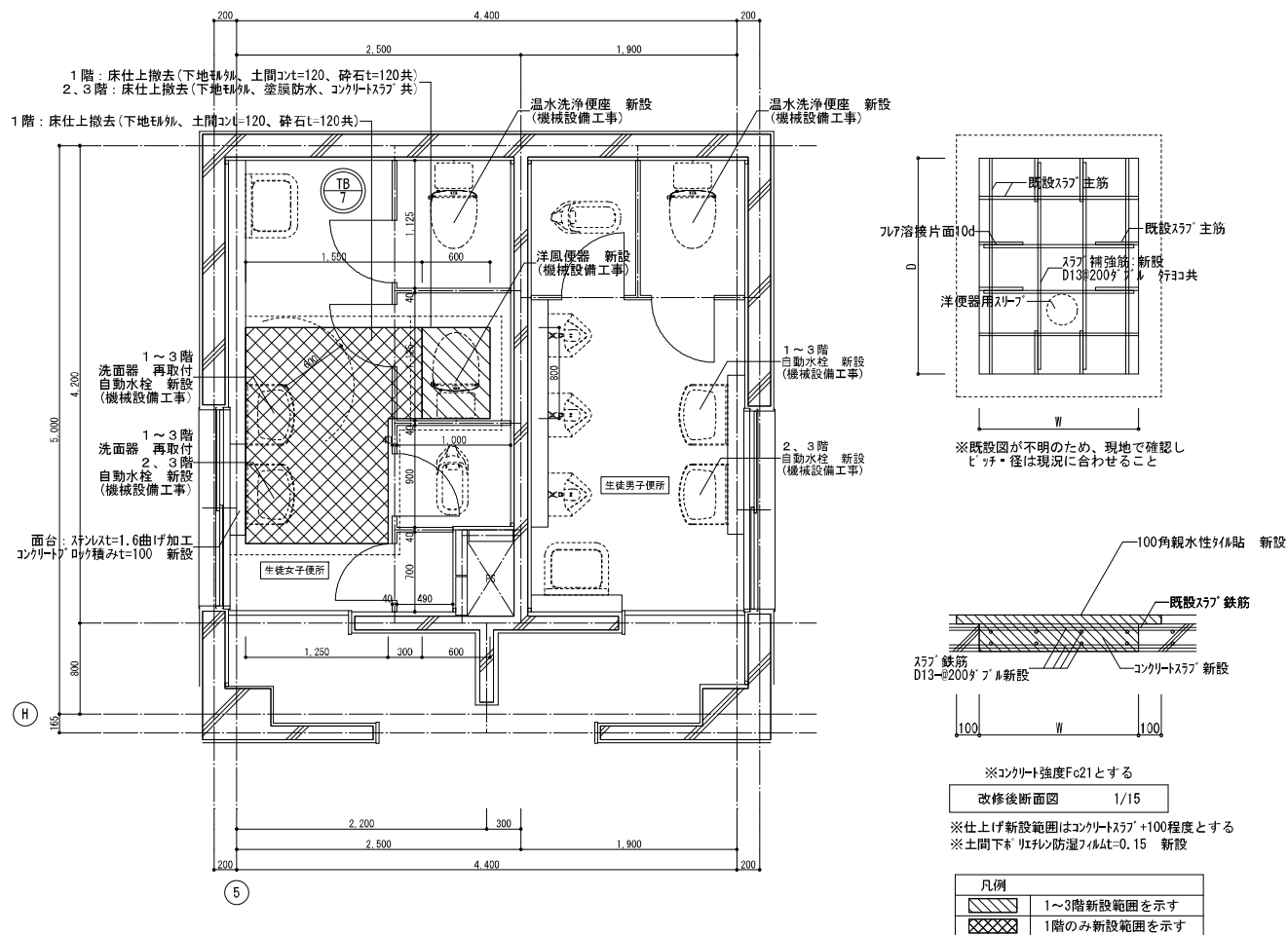


北棟 1～3階 生徒用便所 平面図 1/30



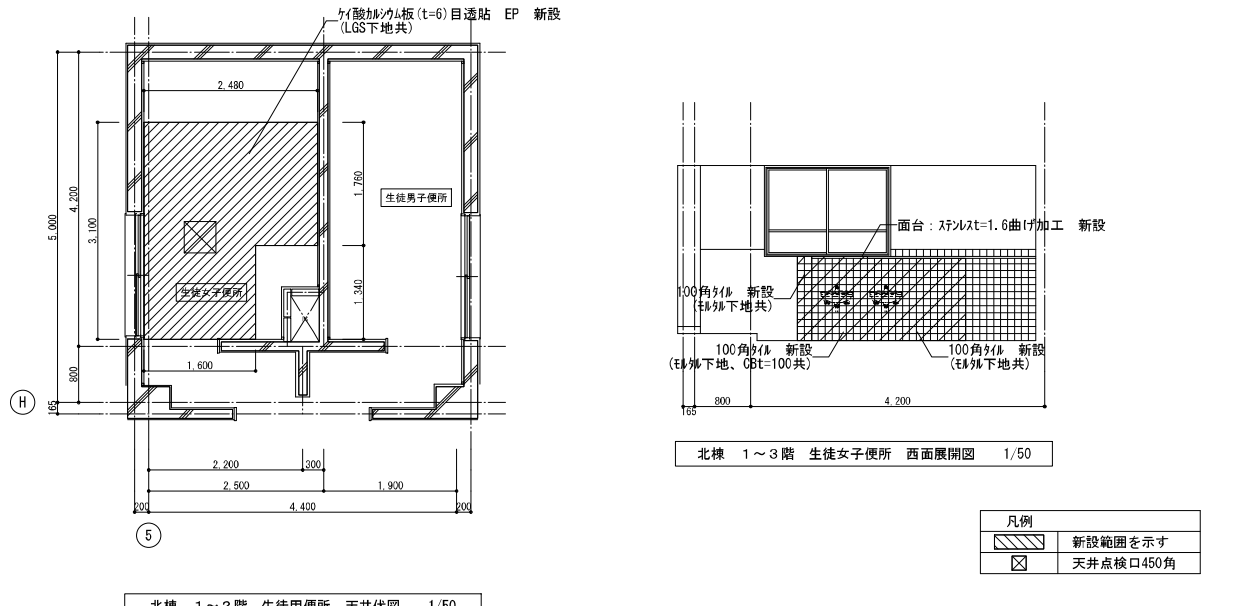
北棟 1～2階 生徒用便所 天井伏図 1/50

改修後

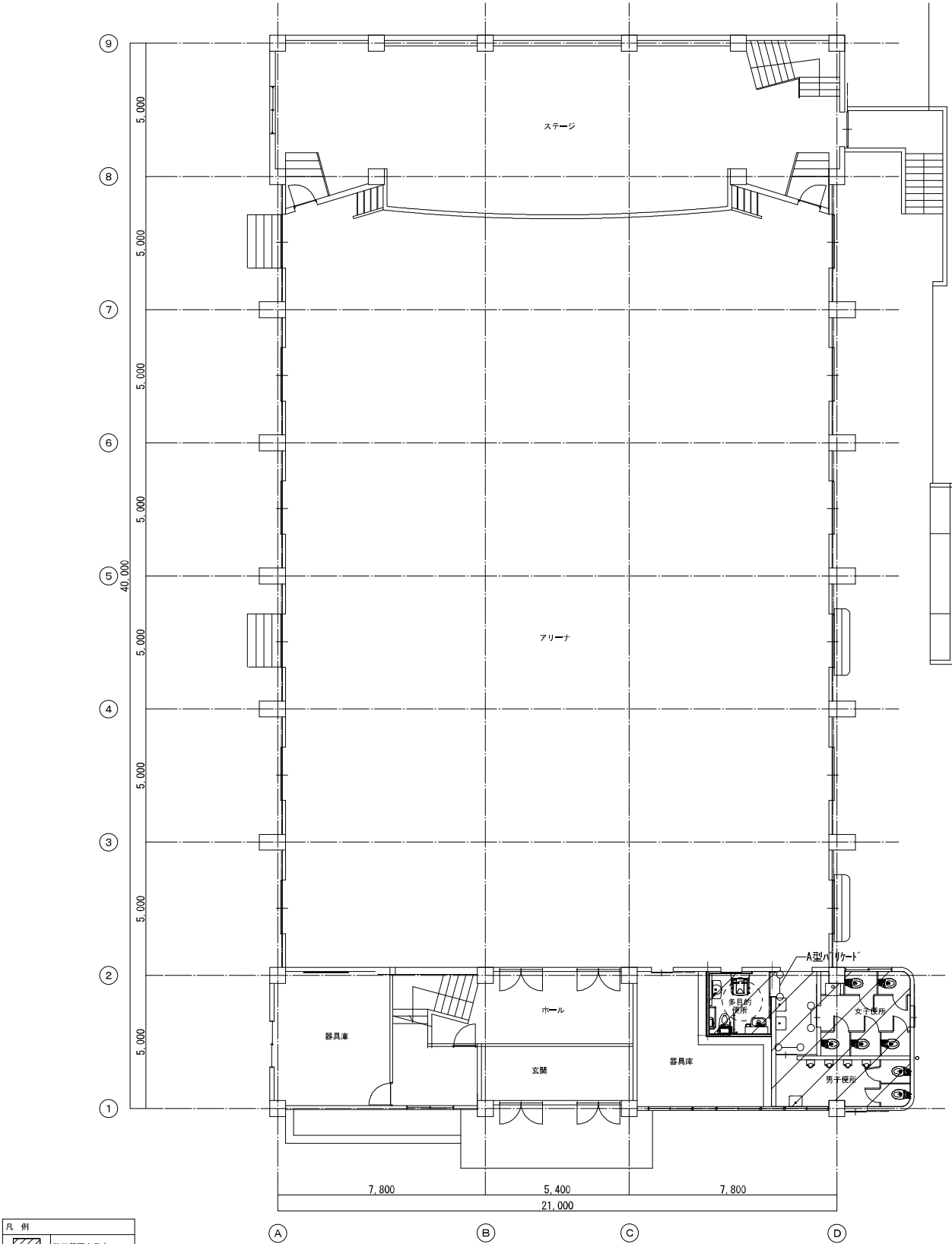


北棟 1～3階 生徒用便所 平面図 1/30

※トイレへ撤去跡がある場合は補修すること



北棟 1～2階 生徒用便所 天井伏図 1/50

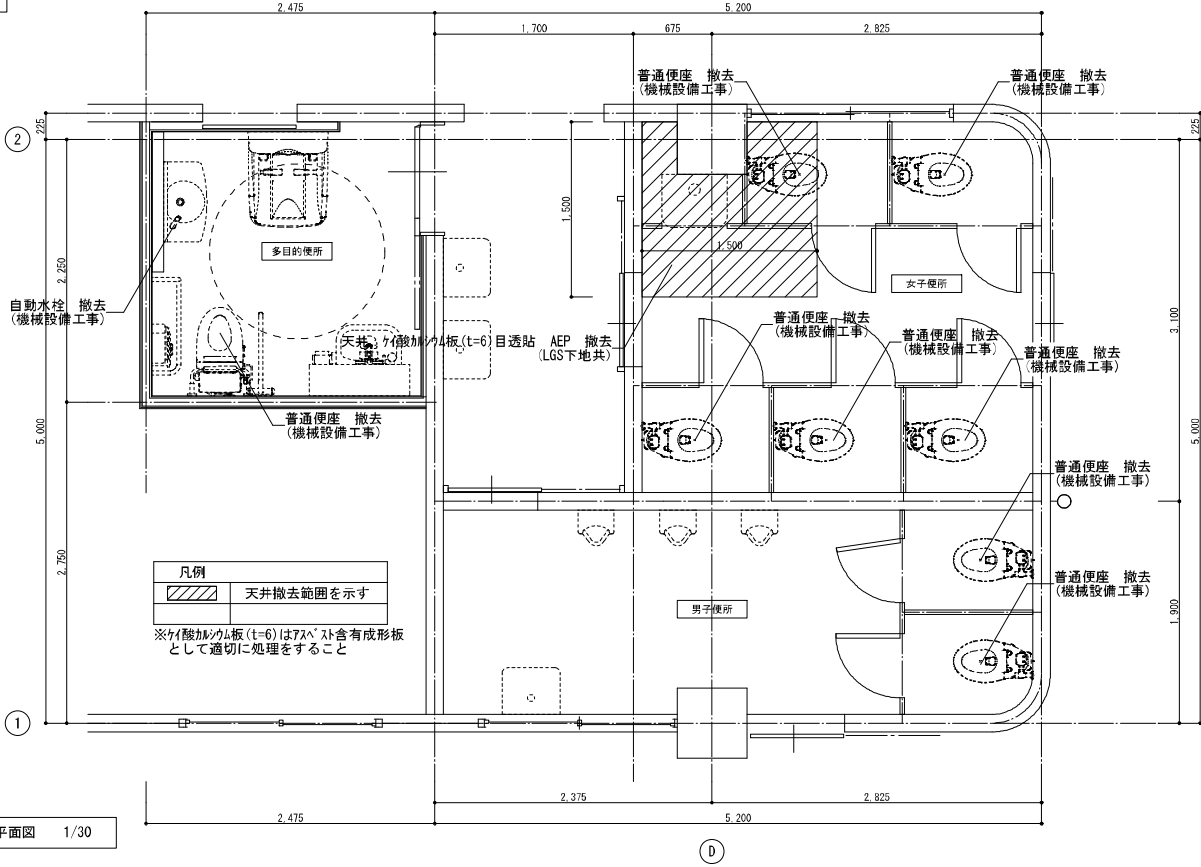


凡 例	
	改修範囲を示す
	A型ﾊﾞﾘｰﾄﾞ

< 注 記 >
※上記記載以外に安全衛生上必要と思われる取設については 請負者 の責任において適時設置すること。
※作業等により既設部分に損傷を与えた場合は速やかに 復旧すること。

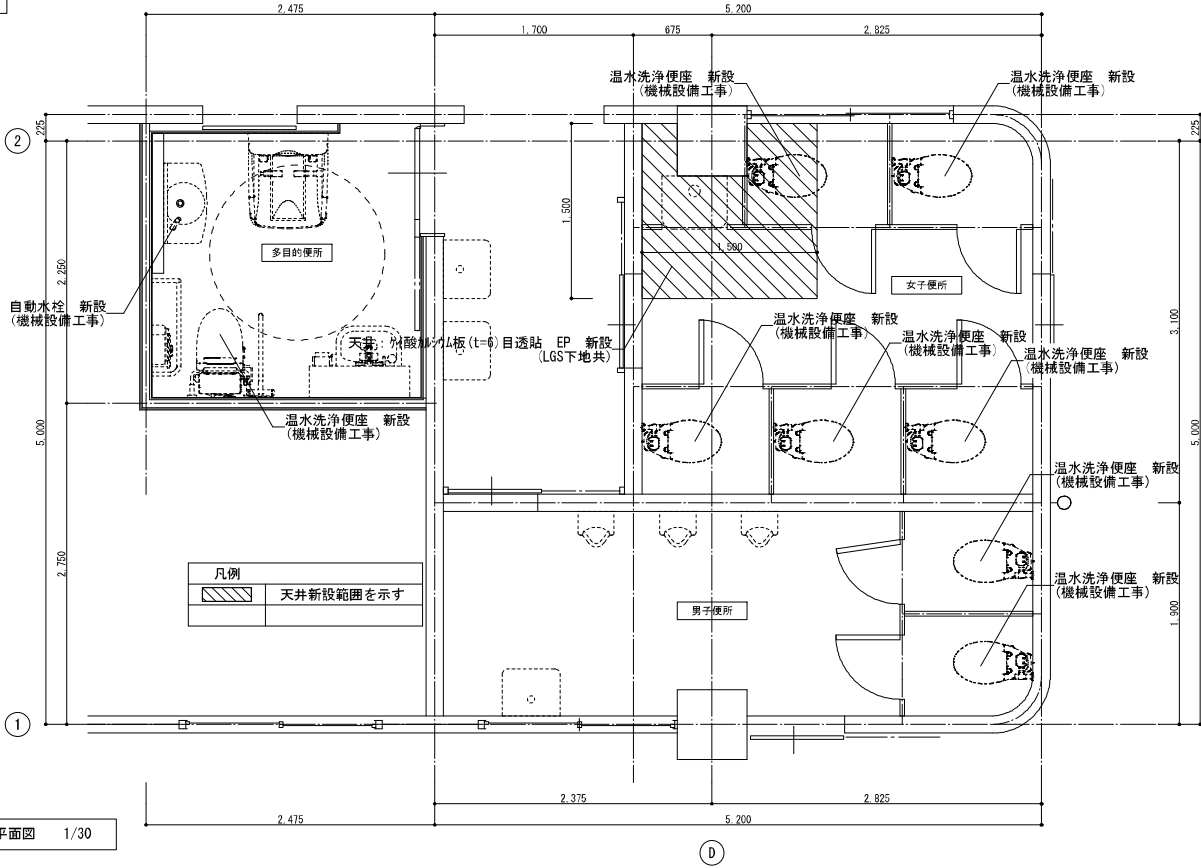
体育館 1階平面図 1/100

改修前



体育館 便所 平面図 1/30

改修後



体育館 便所 平面図 1/30

月・日	月・日
・	・
・	・
・	・

株式会社 市川三千男総合設計
三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659
一級建築士 第 93977号 市川 司

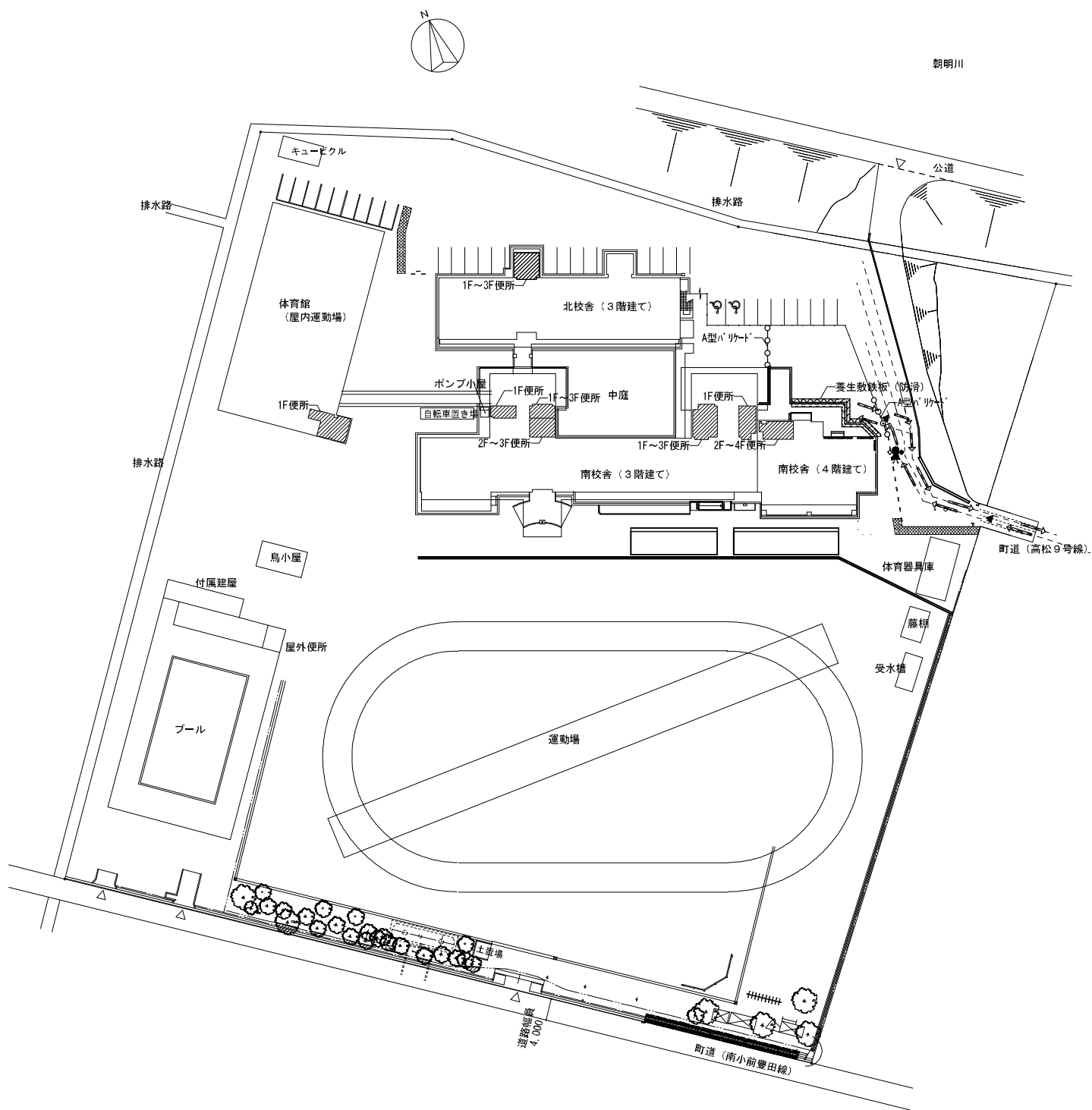
設 計
一級建築士 第266489号 山口 裕之

整理番号 縮 尺
年 月 日 A1 1/30,100
A3 1/60,200

川越南小学校洋式トイレ化工事
体育館平面図

NO.
A — 13
18

建具番号	TB1 トイレブース		1	TB2 トイレブース		2	TB3 トイレブース		2	TB4 トイレブース		1	TB5 トイレブース		2	TB6 トイレブース		1					
姿 図																							
見込 硝子	40			40			40			40			40			40							
仕 上	無機質塗装硬質珪酸カルシウム板																						
金 物	ステンスレック、ステンス笠木、ステンス脚金物、グレベティーセンジ、非常開閉付表示錠、付属金物一式																						
室 名	南棟 1階 職員女子便所																						
建具番号	TB7 トイレブース		3	TB1 トイレブース		1	TB2 トイレブース		2	TB3 トイレブース		2	TB4 トイレブース		1	TB5 トイレブース		2					
姿 図																							
見込 硝子	40				40			40			40			40			40						
仕 上	無機質塗装硬質珪酸カルシウム板																						
金 物	ステンスレック、ステンス笠木、ステンス脚金物、グレベティーセンジ、非常開閉付表示錠、付属金物一式																						
室 名	北棟 1～3階 生徒用女子便所																						
建具番号	TB5 トイレブース		2	TB6 トイレブース		1	TB7 トイレブース		3	TB1 トイレブース		1	TB2 トイレブース		2	TB3 トイレブース		2					
姿 図																							
見込 硝子	40			40			40				40				40								
仕 上	高圧メラミン樹脂化粧板																						
金 物	ステンスレック、ステンス笠木、ステンス脚金物、グレベティーセンジ、非常開閉付表示錠、付属金物一式																						
室 名	南棟 2、3階 生徒用東女子便所																						
月・日			月・日																				
・			・																				
・			・																				
・			・																				
				TB※ 撤去する建具を示す ※無機質塗装硬質珪酸カルシウム板の撤去は7mm寸含有成形板として適切に処理をすること				株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司				設 計 一級建築士 第266489号 山口 裕之				整理番号		縮 尺		川越南小学校洋式トイレ化工事		NO. A — 14	
				TB※ 新設する建具を示す												年 月 日		A1 1/50 A3 1/100		建具表		18	



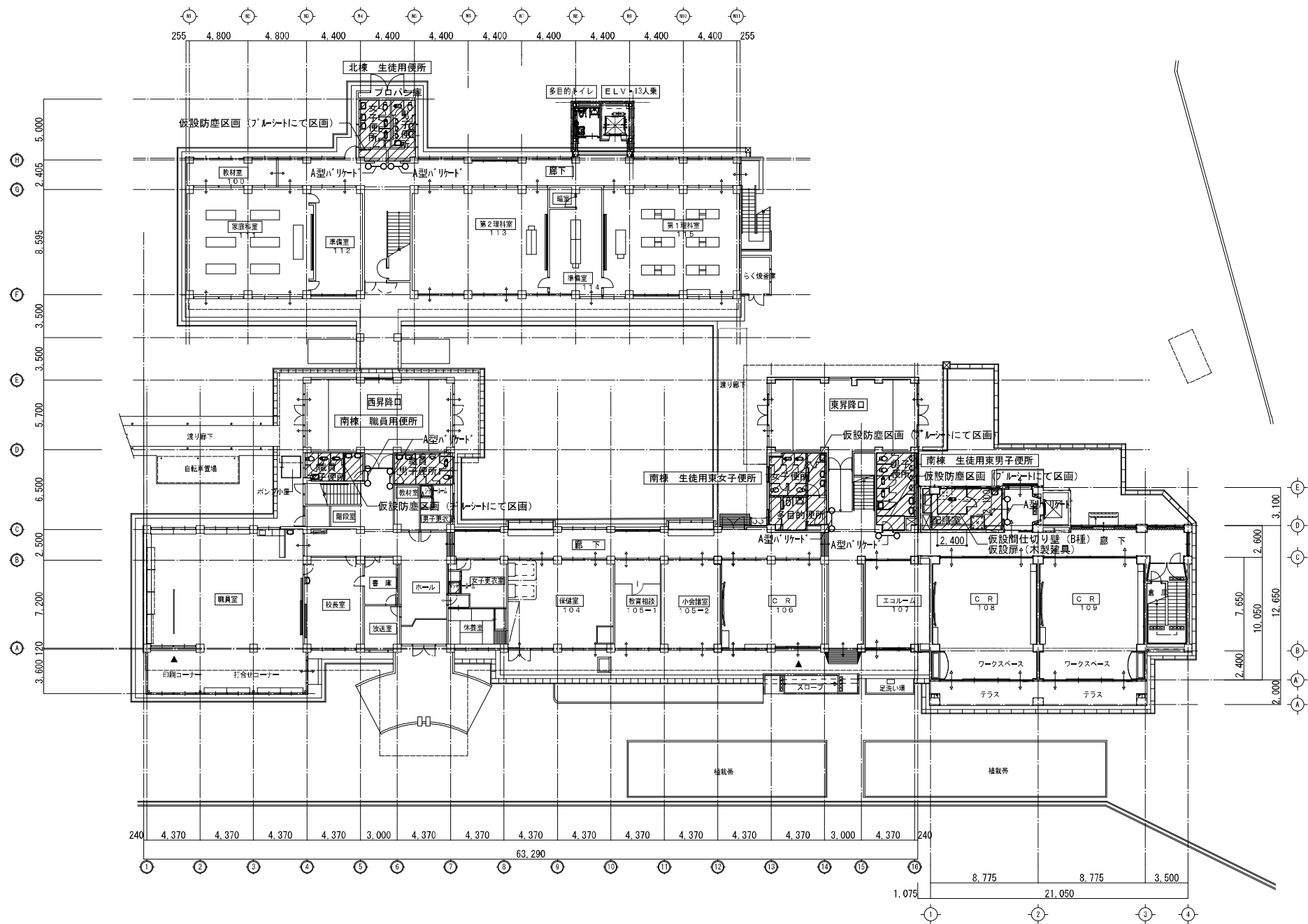
外部仮設計画図 1/500

凡例	
	改修範囲を示す
	A型ﾊﾞﾘｰﾄﾞ
	工事車両出入口
	工事車両進入経路
	交通誘導員 (大型車両通行時配置)
	養生敷鉄板 (防滑) 【40.5㎡】

< 注 記 >

※上記記載以外に必要なと思われる仮設については、請負者の責任において設置すること。
※グラウンド等への大型車両進入時や資機材運搬時については、必要に応じてA型ﾊﾞﾘｰﾄﾞ等にて施設利用者や児童の安全を確保すること。
※作業等により既設グラウンド等を乱した場合は速やかに復旧すること。
※当該計画図での安全区画については、大型建設車両が搬入している期間のみとする。

月・日	月・日	実施期間：1.5ヶ月間予定（夏休み期間中） ・既設ｽﾏｰﾝｸﾞﾗﾝﾄﾞ撤去後のｽﾓｰﾌﾞ復旧時に於けるｽﾓｰﾌﾞｺﾝｸﾘｰﾄ打設作業等での活用を想定。	株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設 計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号	縮 尺	川越南小学校洋式トイレ化工事	NO. A — 15
.	.				年 月 日	A1 1/500		
.	.					A3 1/1000		
.	.						外部仮設計画図	18



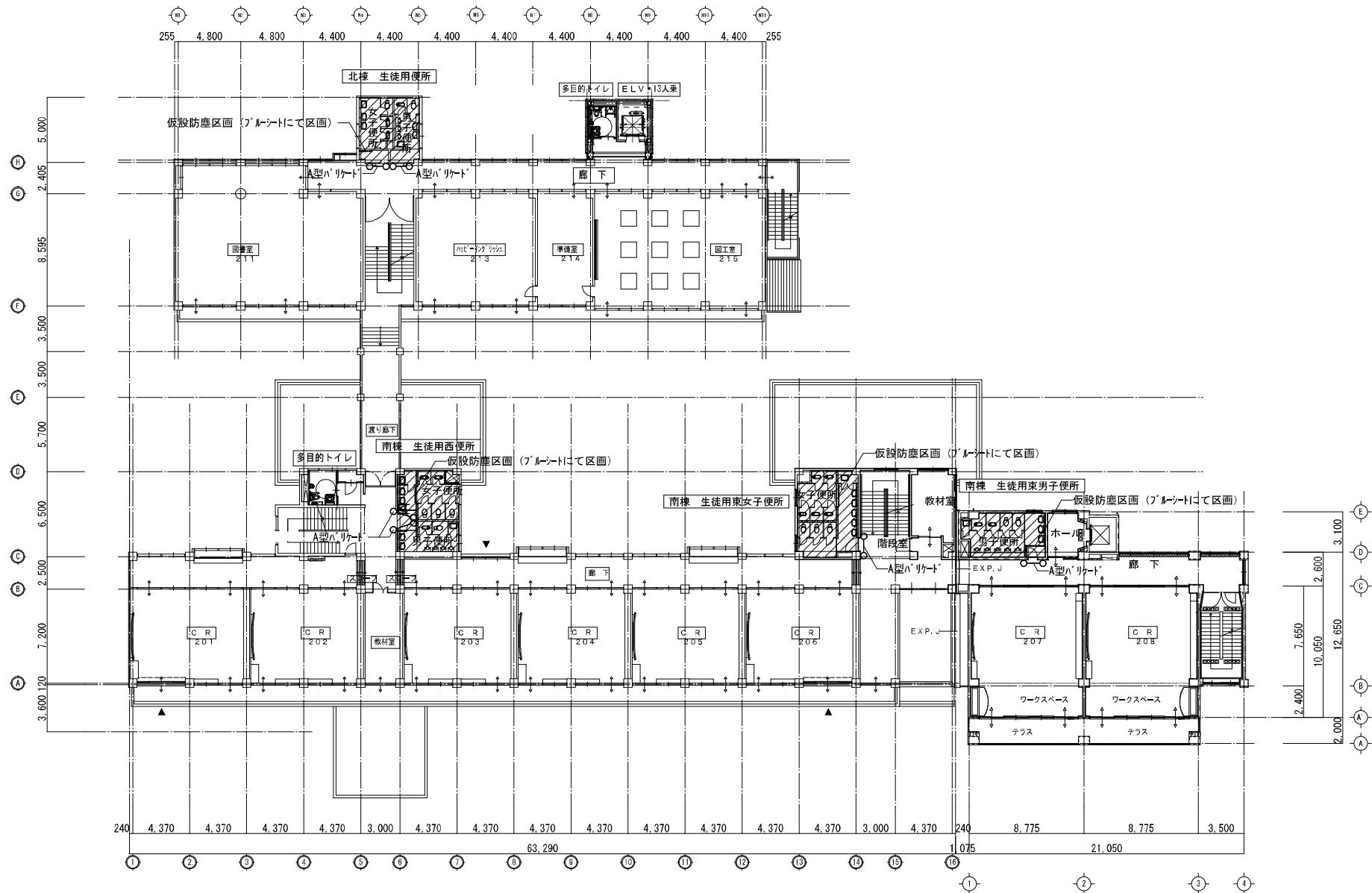
1 階仮設計画平面図 1/200

凡 例

	改修範囲を示す		仮設防塵区画 (ブルーシートにて区画、粉じん対策として送風機にて対応)
	仮設間仕切り壁 (B種)		A型ハ「リカー」
	仮設扉 (木製建具) W600×H1800		

< 注 記 >

※上記記載以外に安全衛生上必要と思われる仮設については請負者の責任において適時設置すること。
※作業等により既設部分に損傷を与えた場合は速やかに復旧すること。

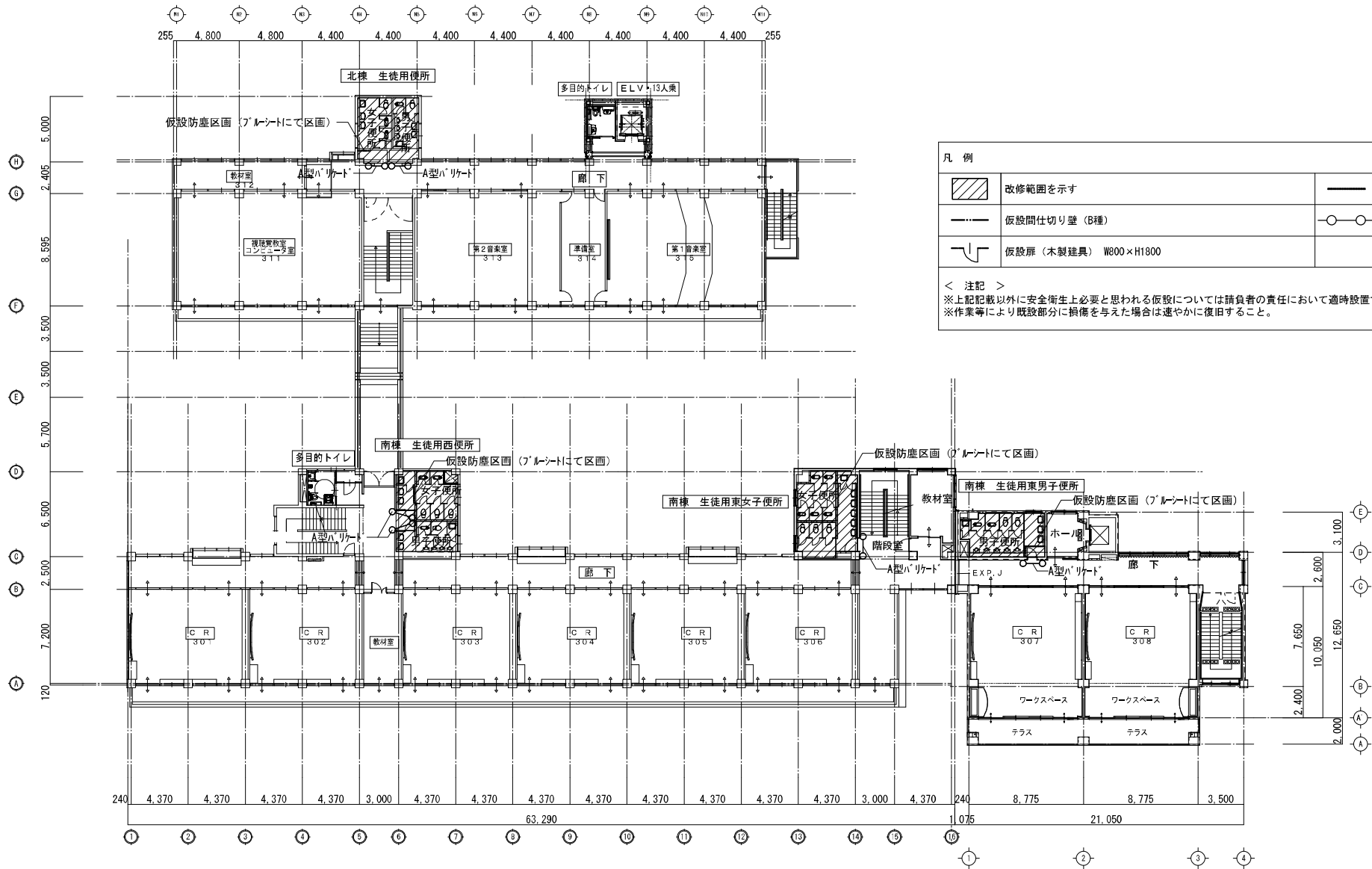
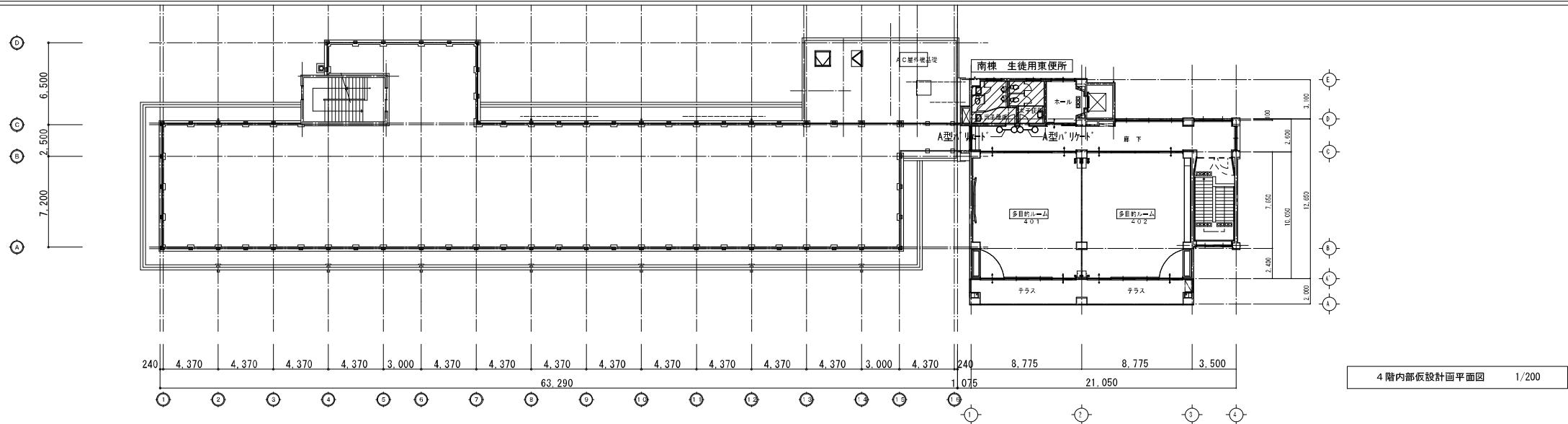


2階内部仮設計画平面図 1/200

凡 例

	改修範囲を示す		仮設防塵区画 (ﾌﾞﾙｰｼｰﾄにて区画、粉じん対策として送風機にて対応)
	仮設間仕切り壁 (B種)		A型ﾊﾞﾘｰﾄﾞ
	仮設扉 (木製建具) W600×H1800		

< 注 記 >
※上記記載以外に安全衛生上必要と思われる仮設については請負者の責任において適時設置すること。
※作業等により既設部分に損傷を与えた場合は速やかに復旧すること。



凡 例

	改修範囲を示す		仮設防塵区画 (ﾌﾞﾙｰｼｰﾄにて区画、粉じん対策として送風機にて対応)
	仮設間仕切り壁 (B種)		A型ﾊﾞﾘｰﾄﾞ
	仮設扉 (木製建具) W800×H1800		

< 注 記 >
※上記記載以外に安全衛生上必要と思われる仮設については請負者の責任において適時設置すること。
※作業等により既設部分に損傷を与えた場合は速やかに復旧すること。